愛國婦人

每月五日二十日發行

一部金三錢　壹ヶ月金六錢　半年分金參拾六錢　全國無遞送料

廣告料一行六十錢

本號全部禁轉載

發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）　愛國婦人發行所

印刷人兼發行人　山澤俊夫

編輯人　永持德一

△注意▽　第百四十六號は特に臨時增刊として發行せり（入用の方は郵券一錢を添へ申込あれ）

社説

話の種

下田次郎

子供に好きなる事多し。取りわけ食べること、遊ぶことが、最も好きなり。されど、これにもをさ〳〵劣らざる好きなることあり、話を聞くこと、即ちこれなり。話はこれに聞き入るときは、子供は食べることも忘るゝほどの好物なり。腹が減れば、食物を求むるが如く、心に何か欲しきときは「お母さん何ぞお話を」とは、屢々子供より聞く言葉なり。腹の滿足と共に、心の滿足は與へざるべからず。然るに世の母には、子を育てるとて、食物の撰擇分量與へ方等につきては、一方ならぬ骨を折るに、子に聞かしむる話については、呆るゝほど平氣なる者少なからざることそ訝かしけれ。口より入れる身體の食物が大切ならば、耳より入れる心の食物もまた大切にあらずや。身體にのみ結構なる滋養物を取らせて、心には、出鱈目の麁末千萬なる材料を與へて、それて子を育てるといはるべきか。飯、肴、卵、牛乳等の常食物は勿論、煎餅、餅菓子より、むつかしき名の西洋菓子まで日頃奢へおきて、間食にも不自由をさせぬほどの母親が、子に話をせがまるれば、用意皆無のことゝて、素より話の出來ればこそ、よい加減の胡麻かし、いふて、心の滋養を取らしむべき折角の機會を殺して仕舞ふこそ、殘念なれ。母の有つべきものは、着物にあらず、肩掛にあらず、子に聞かすべき話の種なり。されど唯話の種を有ち居ることが結構とのみは云へず。話も品に依るものにて、下らぬ話ならば、腐るほど有ち居たりとて、却て有害にて、いつそ話のなき方が好きなり。話すほどならば子供の爲になる良き話をせざるべからず。近來寓話お伽譚を始め、話の種本は澤山出來て、雜誌店繪草紙屋の店も賑ふほどなるが、何分にも平凡なる人間の麁末なる頭にて、一夜作りの出鱈目の作が多く、こんな話を謹聽せしめて、子供の淸淨無垢なる大切の頭を汚すは、勿體なく情けなく思はるゝなり。話せば、今少し氣の利きたる、意味ある話をせざるべからず。凡そ國には言ひ傳へ聞き傳へたる話といふものあり。桃太郎、舌切雀、猿蟹合戰、花咲爺、竹取物語、浦島太郎の如きお伽譚、昔譚は、我が國傳來の話にて、先祖代々親は子に、子は孫に、恰も一家の身代を讓るが如く、日本國民無形の身代として代々に讓り傳へたるものにして、むづかしく言はゞ親たるものゝ心得、語り聞かすべき義務ある話といふも、大言にあらず。古事記は我國最古の書にして、我が國神代及び上古の事を記し、伯耆の白兎、八岐の大蛇退治、天の岩戸等、子供の喜んで聞く話多く、我等が祖先の氣象、抱負、經綸、建國の由來等を伺ふに足るべき話に滿てるものなり。これらの話は、國民の承知しおくべきものにして、又我國は歷史古く、國民の誇りとすべき忠孝を始め、その他あらゆる美德の發現せる歷史上の代表的美談佳話に富む。此等のものは、代々話し聞かされたるのみならず、祭祀の本尊となり、芝居、活人形、見世物、掛行燈、幟旗等の題目となりて、知らず識らずの間に、その感化を受け、日本人なるの精神氣象を養ひ來りたる者なり。今日までの日本人は、これらの傳說歷史の中に煦育せられ、そのお蔭にて本統の日本人となりたるものにして、今後の日本人も亦固より然らざるべからず。我等の子供に聞かしめんとする話は、斯くの如きものをいふにて、俄か作り間に合せの麁末千萬なる話にはあらざるなり。小說の如きも、近作物ばかり讀まず、作中の人物が代々の國民に感動を與へたるが如き古きものをも讀みおくべし。古の教育は、教科書不完全なりし代りには、家庭にて斯る話をして聞かせて、子供に國民傳來の思想感情を吹き込居たるが、今の教育は、教科書多方面に行き渡りて、子供は色々の事を心得居る代りに、肝腎の國民の精神を養ふべき傳來の話をば心得居らざるが如し。これは教育上の一大缺陷なれば、學校教育を補ふ積りにて、家庭に於て、常に斯る話をして聞かすべし。而してそれは誰れがするかと言はゞ、誰にもあらず親、殊に母親其人なり、母の添乳に聞かされたる話が、十數年の學校教育にも勝りて、人を動かすことあると知らずや。

注意　懸賞投票募集廣告は第九面に在り見落し給ふ勿れ

愛國婦人の大發展

日に新たにして、また日に新たなる時代の潮流に伴ふて我が「愛國婦人」も亦た畫策する處なからんや。即ち其の大發展の第一歩としての畫策の一端を漏せば、實に次の如し。

懸賞投票募集「梅か櫻か」

上品にして極く容易す面白き新案の懸賞投票募集なり。投票先着者にして正解なりし諸姉妹五十名を限り賞品を呈す。「梅か櫻か」扨て何のやうの投票なるべきか。三月二十日の發表期までは我が編輯局内にても秘密に屬す。但し此の新案懸賞に應募し得べきは、三月十日迄に本誌半年以上一年分の代金を前納せる愛讀者に限ること豫告の如し。

當代百畫選

既に前號の誌上より發表しつゝあり。當代畫伯の名什は逐號我が誌上を飾れば、讀者諸姉は居ながらにして、當代の巨匠と親む樂みあるべく、即ち畫伯宮川春汀、渡邊審也、梶田半古、平福百穗、木村光太郎、尾竹竹坡、一條成美、尾竹國觀等諸氏が苦心の作は近く本誌の紙上に錦上更に花を飾るべし。

當代閨秀百佳選募集

我が社新案の歌道奬勵法の一として、新たに「閨秀百佳選」を募る。要は本誌愛讀諸姉妹にして歌道に嗜好を有さる人々の佳什を得、中に就きて一百の佳作を選み、當代に於ける諸歌仙に乞ひて色紙若しくは短冊に淨書し、漸次これを寫眞版に附して本誌に掲ぐると同時に、應募者への賞與として、漸次之れを頒つにあり。諸姉佳什を投ずるに吝かなること勿れ。（用紙本誌附載のに限る）

百佳選締切期日　四月末日まで
同　應募注意　一人三首限り
百佳選應募用紙　第七面に附す

△前號の本誌▽

紀元佳節を祝し佐々木信綱、大塚楠緒子、中山幸子、角田竹冷、巖谷小波諸氏の歌俳、關根正直氏の謹嚴なる文を掲ぐ

奧村刀自一周忌紀念の爲め永持編輯主任の文及神谷鹹之氏の悼歌刀自異蹟を掲ぐ

江原素六翁の家庭教育に關せる大辯論は主婦必讀の大文章なり

家庭十姿は前號より新たに掲げられたる文字にして明治家庭の異相を描く

童話三種は各々の特色を具へ、孰れも可笑味の中に必要なる教訓を含めり

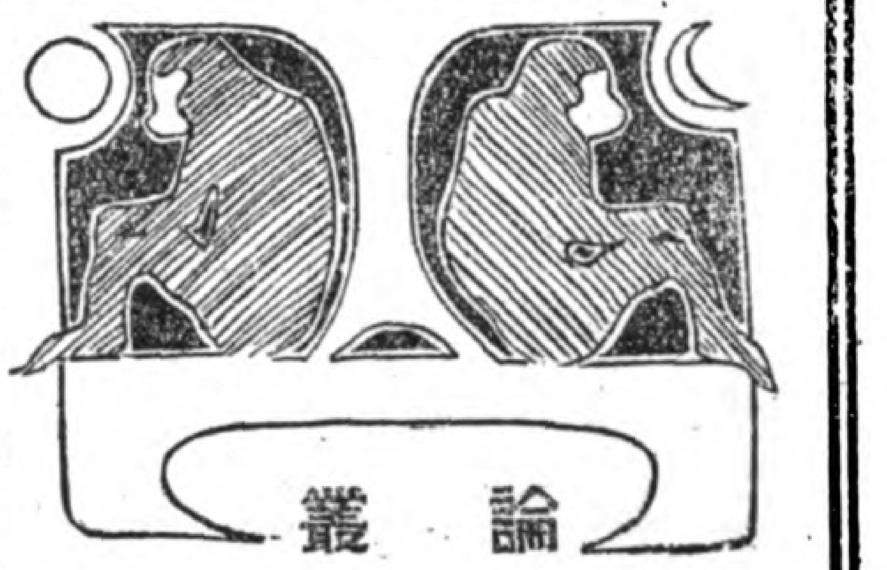
△本號要目▽

話の種……（社說）
家庭の和樂……伊藤ちせ子
當代百畫選（可憐兒）……宮川春汀畫
女の指て軍艦を作る法……野中野知子
神經質の治療法……土田博士
奧村刀自追悼歌……下田歌子
米國女子の職業……佐藤迷羊
花嫁時代の追憶……一夫人
かすてえら製法……園井ちか子
遊戲法いろ〳〵……杉浦政樂
「平和」（下）……梅あつか
閨秀百佳選……（編纂局撰）
閻魔大王の御使者……米繁花
こぼれ松葉（上）……鶴田竹子
しのぶぐさ（下）……伏島たま子
奧村刀自法會實景……（寫眞版）
記事△短文△新體詩△和歌△俳句△社告等

△東京の女學校と題する有益なる記事第九面に在り。注意!!　注意!!

日本唯一最廉にして最多趣味なる家庭教育雜誌は本誌なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



家庭の和樂

伊澤ちせ子

私の宅は儒教を主義と致して居るので御座いまして……。良人のことを申すのも如何なもので御座いますが、至つて孝道に厚いので御座いますから（記者申す。ちせ子夫人の御良人とは、改めて申上げるまでもなく、教育家伊澤修二氏なり）それに、私は幼少の砌、伊澤家に貰はれて參りましたので、唯もう、生みの家に居りますと同樣に過して參つたので御座います。

唯々、義父、義母共至つて嚴格で御坐いまして、その點だけでは、弱年心に少しは、愁いと思つたことも無いでは無かつたらうかとも思ひます。

家庭の和樂なぞと云ふやうな問題に就いても、私は別に嫁として頭腦をなやました記憶は御坐いません。要之。私は斯う思つて居りますので――兎角世間でやれ、姑が何うのかうのと申すやうなことのあるのを、始終耳に致しますが、その大部分は年若な方……お嫁さんの方の忍耐が不足と、まあ、私には思はれますのですが……。

それは一家の嫁として、氣風、家風の異ふ家庭へ、新たに來るのですし、それに、新しいと、古いと云ふ思想の相違がありますからして、姑の善いと認めて居ることとても、嫁の方では、あながち、惡いとまで思はずとも、善いとまで思はぬやうなことも御座いましやう。が、併し斯ういふ處が、嫁の方で充分忍耐をすべき緊要の處だと思ひます。

何故かとお問になりますのですか。何故かと申すに、家庭の主長として、永く一家の採配を執つて居たのが、新たに嫁が出來たので、家事向きのことは、此の新たに出來た嫁まかせに致すとしたところで、何ういふ家庭でも在來の致來りと云ふことがありますし、それに……これは何人にしても左樣であらうと思ひますが、苟且にも自分が善いと信じて形造り來つた一家の家風を、新たに來た嫁の爲めに急に變へられましたならば、姑の立脚地として、何う感じますることで御座いましやう。

一歩讓つて嫁の方の考が、果して正當であると致したところで、それでは、從來一家の主長となつて居られた、今の姑が、嫁の爲めに、鳥渡、踏みつけにされたやうなものですから……何人にしても、不足、不愉快に思ふに相違なく、また左樣思ふのも、姑といふ立脚地になつて考へたならば……まあ、至極、尤かとも思はれます。

二家の平和が破れたりなど致しますのも、結局、このやうな微妙のところにあるのであらうと、私には思はれます。尤も、私には、此のやうな經驗はなかつたので御坐いますから、立ち入つたお話の出來やう筈は御座いませんので……。

＊　＊　＊　＊　＊

以上は、記者が先日伊澤夫人をお訪ね致し、種々お尋ね致したことを一まとめにしたので御坐います。それに、つい、此原稿を同夫人にお目にかける機會がなかつたのですから、或ひは伺ひ損ねた點もあらうと思ひます。若しあらば、またの折是正いたしまする。

△注意――（社告）
本誌に關する用件は凡て直接當發行所宛に願上候然ざれば取計ひ方遲引可有之候

女の指十本で軍艦を造る法

後篇（上）

扨て前々號に豫め申上て置ました女子十本の指を以て軍艦を造る方法は、別段難事に非ず。自分は此事を諸姉方に吹聽致すに先立ち、充分研究を遂げたので御座います。斯る事業を企つるに當ては實踐躬行して而して後ならざれば、唯机上の空論たるに過ぎません。日露大戰後

この論は決して机上の空論ならず

國家財政の困難なる今日は決して空論の時代では無く、實力の時代であると自分も覺悟したもので御座いますから、前に東京支部（本部内にあり）の事業として戰時中より平和の今日に至る迄繼續しつゝある戰病死者の遺家族癈兵の授産場に於て、昨夏頃より遺族癈兵と共に良教師に就き、其事業に取掛り試みしに、創立日尚淺きにも拘らず、舊臘の如きは夜業を爲すも間に合はざる迄に、繁忙を極め、案外好成績を著はしたる爲、愈々趣味を感じ、是は唯獨り遺族癈兵のみの事業と限らず、本誌愛讀者諸姉方の御贊同を得て、全國の同胞姉妹に普く傳播するやうになれば、父兄良人に頼らずして、赤十字社、特志看護婦人會、愛國婦人會等の會費は物かは、僅か十年間を出ずして軍艦の二三艘位は何でもなく造る事が出來るので御座います。

軍艦四五艘何でも無いことなり

然るに我日本婦人は發明力には乏しいが、手先の技術には洋人も驚嘆する程、巧妙なる十指の運轉機を持ながら、寶の持腐れにて、現在の生活に差支なき以上は、手仕事は工女の賤業として蔑視し、手藝などは始から念頭に置かざる習慣が、固疾となつて居りますから、此習慣惡僻を矯正して、婦人の十本の指を以て、富國强兵策を立つると云ふ、大決心大覺悟を以て率先すべき、尤も氣拔の忍耐力兼備の勇婦を全國に亘り、一村部落に、切めて一人宛でも得る事が出來れば、全國に普及せしむる事は容易き事で御座います。

手仕事は工女の賤業と蔑視すべきか

果して然らば其事業とは一體、どう云ふ種類のものでせうか。是より其事業を御紹介申します。

せめて一村一人の有志者が欲しい

其事業は諸姉方には、能く御承知の編物刺繍造花の如き、美術的高尚なる手藝では御座いません。左樣かとて普通の衣服の裁縫でも御座いません。自分の申上ますのは、全然女子には出來ぬ業として從來度外視して顧みられなかつたもので、五體の最下級に用ひ、冬季は片時も缺くべからざる足袋です。嘸諸姉方は御驚嘆御失望でありませう。到底女子の手には出來得られぬ物と見捨られたる足袋を自分が主張する譯は他でも御座いません。即ち編物刺繍造花は、美術的高尚なる技術なれども、之を專門に學んで一身を立るか其他中流以上にて慰み半分に學ぶの他は都鄙を通じて、一般婦人社會に如何に奬勵するも行はれず。又需要も普からず、其方面に因りて向不向もあれど、全國を通じて足袋の要らぬ所はありません。

女子の手より見捨てられたる足袋

成る程夏季は多少需要減ずるも事業として急激の盛衰及流行がありませんから老若男女五千萬の需要者が常にある譯で御座います。其を足に穿く物として輕視し且つ爪先即ち指先を難事とし面倒として、度外視して置くのは決して善事ではありません。凡そ女子の仕事に面倒でないものは無いので、母たる人姉たる人が動もすれば、あれも面倒、是も面倒と云ふのは、妙齡の女生に害毒を流す事洪水猛獸よりも甚だしいのであります。女子が斯樣に内事を疎かにするのは極言すれば、國家の强弱盛衰に大關係があつて、意外の邊に影響が現れるもので御座います。成る程足袋の爪先指先は難事には相違ありませんけれど二週間勉强すれば、一通の道丈は必ず覺えます。

女子の仕事に面倒で無い事一もなし

當代百畫選

（二）　可憐兒

宮川春汀氏筆

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

神經質の治療法

(所謂文明病に就ての其三)

醫學博士　土田卯三郎

凡て神經系の作用亢奮し、身體的疾病の時、甚だ易く神經系の症候を合併す、例へば輕度の發熱等に痙攣昏睡、嗜眠、譫語、幻視、幻聽、等を來たす其の甚だしきは腦膜炎なる乎を疑はしむるに至る。

一、知覺神經系も又著しく亢奮し易く例之ば不慣れの食物、攝取、不攝生(食物)氣候及び天候の變動等が、神經痛、偏頭痛等を來たす。

殊に腦の刺戟に對する抵抗力著しく減少す、即ち氣分思考力、其他總ての精神に感動すべきとは非常に興奮し易くして他人の爲めに同情を表し易きため輙く他人に左右せらる、又此の抵抗力の減弱は氣候、即ち溫暖、或は冷寒、或は風雨、或は天氣の變化等も、亦普通人以上に苦痛として感ず、甚しきは室內の溫暖、アルコール、煙草の喫飮等は既に耐へ難し、斯の如きは屢々婦人に遭遇する所にして、之れ婦人の天性、男子よりは神經質なること、換言すれば神經精神等の、男子の如く强壯ならざるを證明するの一例ならんか、(女權の擴張は全然男子の職責に進入し來りて、辯護士は元より、近頃の新聞紙に載する所によれば、女子の代議士すら之れあるに至りしも、此れ果して女子の天職なるや否や、小生の解し難き所なり、如何となれば上に述べたる如く、男女の差たる解剖學的に證し得らるゝのみならず、今茲に神經質として論ずる如きは、之れを男子に見ること尠なく、其の大多數は女性に具有する所なればなり)。

神經質のものは、總ての知覺が非常に過敏にして(神經系虛弱)愉快なること、不愉快なること、等に感動することは殆んど特異素因を有するものなり、其の甚だしき例を示せば、神經質なるものは僅かなる出血を見ても、此れに恐怖して人事不省に陷るが如し、其他斯の如き例は、枚擧に遑あらず、一二を記せば、雷雨、電光、銃聲等に對して、恐怖的の叫びをなすが如き、或は生來好まざる者は、犬猫の觸るゝ時にも叫聲を發して恐るゝが如し、之れ等は皆其の端緒を小兒時代に啓き、長年月間潜伏したる、聯合作用の關係尠なからざらん、如何となれば此の神經質の者にして、却て常人の驚くべき或は恐るべきことにも、更に無頓着なることあればなり。

二、交感神經の感動、殊に其の脈管神經系に、精神刺戟の媒介を以て感ずることも、此の神經質には又普通以上なり。例令ば輙く顏面の蒼白、潮紅、心悸亢進等殊に又アルコールの刺戟に感じ易きは、神經質の者に見る如く、多數の婦人に認むる所なり。

奥村五百子刀自遺懐

下田歌子

三、運動神經系統も亦、神經質のものが甚だ輙く興奮す。或時は興奮して痙攣狀となり、又或時は之れに反して運動作用を停止するに至る、例令ば僅かなる刺戟によつて顏面、甚しきは四肢に搐搦、(チック)或は振顫、或は强迫運動、等の如し。

運動靜止の例としては、ミルレル氏の精神的利尿困難、即ち膀胱內の尿を排泄するに、精神の興奮によつて困難なるあり(不馴なる者が仰臥の儘、便器に排尿せんとして困難なるが如し)。

四、殊に屢々此の神經質のものに來る異狀は、生殖器に於て甚だし、就中最も屢々見る所は陰萎なり、(完全陰萎及び不全陰萎)之れに反し、生殖作用の甚だしき早期發育、例令ば小兒時の手淫の如し。(或る雜誌に某軍醫は報告して曰く、二三歳の少女が手淫をなしたる例を記載せり)。

エルブ氏は我儘、不安、五管器刺戟の感動の强き、恐怖、感受性亢進、睡眠の不安、等の文明國人に殆んど通有なるは、所謂文明病、即ち神經質なるに因る。

神經質の治療法　此の療法は其の大體に於て二種に分つ。

一、神經質其のものに向つての治療法

二、此の神經質なるものが、甚容易に神經病に移行するものなれば、此れに向つての豫防法。

第一のものの治療としては、一般衞生法に注意す。大にしては國家問題とす。即ち一般の健康法、殊に惡習慣の排除、(飮酒等)或は苛酷なる課稅、最も大なる關係は學校及家庭に於ける敎育法の過不及なり。如何となれば各人に體力の差ある如く、又腦の官能も此れ以上の人々の差異あるものにして、既に上に論じたる如く、腦の虛弱なる者は、其初め小兒期に於て甚だ機敏なる如く、總ての精神的敎育を好み、又成績良好なるが故に、家人も天性非凡の如く、之れを待遇す。何くんぞ知らん。如斯き小兒は、腦の虛弱なる爲め、或る程度內に於ける外來の刺戟に對し、過敏なる反應を顯はしたるに過ぎずして、終には快復す可らざる腦の機能障害を貽すに至る。

上に記したる要項を詳記すれば、即ち(一)飮酒問題。(二)穩當なる納稅法、例令ば直接に生活に向つて、缺く可らざる物品に對し無稅法。(三)家屋學校及工塲等の衞生法。(四)家庭學校等に於ける敎育程度の、過劇失當ならざると。及敎授法の完全なること。殊に女兒に對する體操等は、最も注意を要す。(五)工塲等に於ける、主權者と職工との關係。(最も適當なる日當、及勞働時間の制限、及適當なる休業日。)(六)神經病者及精神病者との交際を避くること、殊に家族中に神經病者を混ずる如きは甚だ危險なり。(或神經病は、直接傳染の恐れあり、ヒステリー症の如し。而しながら今日の有樣は、斯るヒステリー患者を別居せしめざるのみならず、不知不識の間に如斯患者と、結婚するが如きの危險を無視するの狀態ならん)。

米國女子の職業

(前號第三面より續く)

佐藤迷羊

△敎育事業　米國女子の重な職業は敎育事業であります。日本でも近頃女の敎育家が增加て來ましたが、主に幼稚園とか女子敎育とかに限られて居ます。しかし米國では普通敎育の殆んど全體は、御婦人の手一ツでやつて居ります例へば米國の小グラス、スクールといふのは、日本の小中學と一所にした位の程度ですが、其敎員は勿論校長も大概女であります。國民の普通敎育といへば、第二の國民の養成所で最も大切でありますが、是れは米國では御婦人方のなさる事と定まつて居ます。實に大した事ではありませんか。曾に普通敎育ばかりではない、高等學校敎育でも、大概敎員の半數は男子ですが、半數はやはり女子であります。日本では女は敎員は好いとか惡いとか兎角の評もありますが、米國では論より證據實地にして居ります。斯く敎育上に功勞がありますから、政治上では選擧權がない米國女子も、敎育上の事になりますと多くの地方では選擧權を持つて居ます。そして小學校の女敎員は悉く師範學校か、大學校の卒業生中から取りますから、學力も品位も遙か日本の女敎員より高いやうです。隨つて俸給も州毎に違つて居て一定しないが、加州では最下給が七十五弗、即ち日本金の百五十圓であります。米國の男子の俸給としては、七十五弗は最下等で巡査も郵便配達も同額ですが、女子の俸給としてはなかなか高い給料であります。近頃は州議會の問題になつて百弗にしやうといつて居ましたが、多分今頃は百弗になつたでせう。次に

△商店の賣子　には御婦人が多いやうです殊に御婦人向きの化粧品店、吳服店、小間物店や菓子屋などの賣子は大概女子であります。實際御婦人はおとなしく、人に對しても鄭重で且つ謙遜でありますから、賣子には最も適當かと思ひます。げに日本でも三越あたりでは西洋風に女子を用ひて、大變結果がよろしいと申します。それから商館、會社、銀行、諸官署などの事務員や、タイプライターには御婦人が多く、近年は追々男子を壓倒して參りました。殊に電信郵便局や、電話事業は女が多いのは自然の道理でありますそして日本も同樣商店などに働く賣子は餘り敎育がありませんが、商館、會社、諸官署に事務員として働く御婦人方は、大概商業學校の卒業生か、高等學校出身でありますから、敎育も十分であります賣子の方は二十五弗(五十圓)から五十弗位までの給料ですが、事務員になると四十弗から五六十弗、其上は限りはありません。斯く米國の御婦人には職業は澤山ありますから、米國生れの女子にして、

△下女　となるものは殆んどない。米國の下女は大概外國から來た女子で、重に獨逸、佛蘭西、スキーデンなどの國の女子が下女奉公して居ます。日本の下女は殊に下等な不憫なものですが、米國の下女は大意張りです。日本でも下女が年々減少て參ります、奥樣方は餘程下女をおいたわりなさらないと、米國のやうになつて了ひます　(おはり)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

花嫁時代

くれがし夫人

唯今こそは、花も實もない梅干婆になりは致しましたが、斯う見えて居りましてもね、昔は随分ね……おほゝゝ。左樣ですねえ、では、閑話休題と云ふ事に致しましてそろ／＼本題に取りかゝると云ふことに致しませうかね。……おほゝゝ、本題なぞと申しますると、何うもね、妙に固くるしくなりましてね、おほゝ、夫れこそ、妙で御座いませんねえ貴君。左樣では御座いませんか。左樣で、こんなに「花嫁時代の追憶」なんて題を附けましたところで、實に申し上げる程のことは無いのですよ。あら、それでも宜しいんですつて？ 何うてしやうか、ね？

＊　＊　＊　＊　＊　＊

全くのところ、私が花嫁として當家へ參りました時の心の狀態を申しますと、絶對の服從で御座いましたの。絶對の服從では固苦しいつて仰有るの！ あら、まあ、好くつてよ。眞實のところ、絶對の服從と云ふより他に云ひやうは御座いませんわ。何故と仰有るの？。何故かと申せば、世間に好くあるお見合なぞと云ふことも致した譯では御座いませんし。未來の良人となるべき人の寫眞一つ見ないので……まして。何んな人格の人だか、それこそ、父母や媒妁人から聞いたばかりで、何にも知らなかつたし、また、私は御存知のやうに内氣もので御座いますから、唯だ、もう、婚禮といふ恥しさが胸一ぱいなので、聞かうとも致しませんてしたの。何有私が内氣てないと仰有るの、貴君も餘程お人がお惡いのね。

てすがね、生昧のところ、私だつて、花嫁時代には、斯うまで、今のやうには厚面ては御座いませんてしたよ。

それは左樣と、全く、私は此樣な鹽梅しきて花嫁になつたのですから、此頃大分やかましくなつて居ります、あの理想の良夫だとか、何とか思つて歸いたのては御座いませんが、歸いて連添うて見れば、全くの處、良人は依然、誰れよりも彼よりも一番良い人になりますわ。

では、私は無理想な女てすつて？ 成る程、無理想だつたかも知れませんが、好くまあ、考へて御覽遊ばせ、世間に理想と實際とが、劃然と好く合ふことが御座いますか。そら、御覽なさい。まあ、尠いつて。貴君も男らしくも無い。無いつて仰有い!! いえ、何有、其樣に恐縮なさるにも及びませんわ。

大體が、先づ此樣な風て歸いたので御座いますから、申さば、歸くといふのは是非女性が一生に一度致さなくてはならない義務……何有、嬉しい義務てすつて？。まあ、貴君、飛んでも無いことを仰有るのね!!

では、續きを申しましやうが、眞面目に聞いて下さいよ。……眞實のところ、斯う義務だと心得て、歸いたので御座いますから、姑に服從するのも花嫁の義務、良人に服從するのも花嫁の義務、先の家風に服從するのも花嫁の義務、何も義務、彼も義務で服從して參つたので御座いますから、別に憂くも愁くも思ひませんてしたのてすね。

それては全然、面白くもなかつたのかと仰有るのですか。左樣、仰有られゝば先づ左樣てすね。てすが、その代り、不快とか、不平と云ふものは一つも御座いませんてしたよ。申さば、これだけが、私のやうな、所謂無理想ものゝ幸福かも知れませんね、おほゝゝ。

もつと、話せと仰有るのてすね。まあ此の邊て此度は……物云へば唇寒し何とやら、と申すては御座いませんか。

料理の栞

家庭寶鑑 西洋料理法

私立英語專門學校女教長 櫻井ちか子

SPONGE CAKE.

Two cups of flour.
Two teaspoonfuls of baking powder.
Four eggs.
One and half cups of sugar.
Half cup of water.

Get everything ready before beginning to make the cake, oil the pan, measure the flour, and baking powder, and sift them together three times; measure the sugar, water, and separate the yolks from the whites of the eggs. Beat the whites of the eggs with half the sugar until they are very light. Then beat the yolks very light, or until tehy become lemon-colored, add the remaining half of the sugar and beat again, and then a little of the water if it is difficult to turn the egg-beater. When the sugar is well mixed, add the remainder of the water, and the flour. Last of all fold in (not beat) the whites of the eggs lightly.

Bake in a moderate oven.

かすてえら

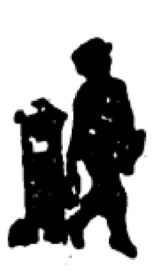
△材料▽ メリケン粉（但しふるひたるもの）二杯　中卵子四個、砂糖一杯半　水半杯　燒粉茶匙二杯

△製法▽ 菓子を作る前に、凡て入用の器具や材料を用意し置き、第一に燒鍋に油を引き、次にメリケン粉と燒粉を計り、一緒にして篩にて三度篩ひ、砂糖と水を計り、卵子の白味と黄味とを分ち白味の中に前記の計りたる砂糖の半分を加へ、極く輕くなるまで泡立器にて泡立つべし。次に黄味がレモン色となるまで泡立てゝ殘りの砂糖を加へて又泡立つべし此時に若し泡立器を廻すことがむづかしければ、水少しを加ふべし。扨、砂糖が能く混化したる時、水の殘りたるものを加へ、好く掻き混ぜて後、燒鍋へ入れ餘り强からぬ火て燒くのす。

△第七十六回文苑募集△

和歌　春季雜題　佐々木信綱選
俳句　春季雜題　内藤鳴雪選　締切 三月五日
短文　停車場　編輯局同人選
新體詩　山 其仙饋意　同上　發表 三月廿日

圖書クラブ



本號では此度博文館から出版された世界遊戲法を御紹介致します。該書は日本女子大學教授松浦政泰氏の著述されたもので、定價金壹圓四拾錢。内容は極めて豐富で、從來世間に有ふれたものとは、較べられぬ程、好く出來て居ります。全冊六百五十頁餘の大卷を、單獨遊戲、雙對遊戲、團欒遊戲及團隊遊戲、餘興遊戲の五章に大別して、又各章に就て細密に懇切に趣味ある遊戲法を述べてありますから、誰方にても判ります。就中、文學遊戲、心理遊戲、歷史遊び、美術遊び、文字遊び、夜會遊戲、座敷狂言、活人畫等の各章杯は有益て而して面白う御座います。左に團欒遊戲の第二章學藝競爭遊戲第二節歷史遊び、及第四章靜座競爭遊戲第八節中の直段付け第十四節中の鼻撮み等を御紹介申しませう。（係記者）

遊戲法のいろ／＼

日本女子大學教授　松浦政泰

其一、歷史遊び　普通札數は六十枚で十五種に分れ、一種が四枚宛てある。例へば紫式部の札が四枚あつて、いづれも上には紫式部と横に大書してあり、下には式部の事蹟が一つ宛書いてある。一枚には「藤原爲時の女にして藤原宣孝に嫁し、大貳三位を生む。母子共に文名あり」とあり。又一枚に「源氏物語五十四帖を表す。一條帝之を賞して曰く、是れ盡く日本紀を諳んずる者なりと。人呼んで日本紀の局といふ」とあると、一枚には「寡居して上東門院に仕ふ、門院の父道長其才色を悦び、之に私せんとす。式部拒みて從はず。操行高潔世之を賞す。」とあるの類である。

優雅なる遊戲

趣味なる遊戲

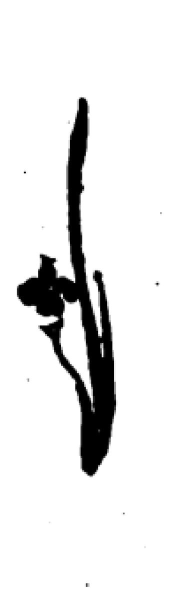
又穴勝人物に限らず「大化の改新」とか「應仁の亂」とか、事件を取るのも面白い。偖甲が六十枚を能く混交て一同に配ると、其左隣の乙は、何でも一枚の札を出し文句を讀みあげて前に置く。それが紫式部であると、隣りの丙は若し手に紫式部があれば其札を出し、又文句を朗讀する。丁も亦同じ事をするのであるが、併し紫式部の札が無いと、次の戊から一枚貰はねばならぬ。貰ふ時には、戊は自分の札を下向にして突出すのを、出鱈目に一枚拔くのである。拔いた札が紫式部であれば、それを出して可いが、そうでないと札が一枚殖えた丈で、次は己の順番となるので、結局早く札の無くなつたのが勝てある。若し同じ札が二枚ある時は自分からそれを打出すのは損である。又此遊戲の札があると、四枚の中何れか一枚を除けて「御婆拔き」も遊ぶとが出來る（世界遊戲法第四五六頁參照）

邪氣なき遊戲

其二、直段づけ　一同に紙を配り其上の方に何か室の中の物の名を一つ書かせ、それを折隱して世話方に出し、世話方が之を混交て再び一人一人に渡すと、皆紙の下の方に直段を書く。世話方はそれを集めて讀み上げる。「御菓子盆」が白銅一つ「室の大黒柱」が米貨一弗。「花野孃の頰の赤み」が十萬圓「松山先生の御髯」が一文で、一座アハヽヽ、オホヽヽ。

其三、鼻撮み　これは御多福の多い我國には不適當かも知れない。男と女が一つ置に圓く並んで居ると、一人の女が我指を輕く右手の男の鼻の先を撮み可笑しい話をして之を笑はせるのが始まりで、次は其男が次の女を試み順々に廻して行くので笑つた者は罰せられる。時に炭の粉を指につけて居て、相手を困らせることもするが、それは餘り譽めた事ではない。

滑稽なる遊戲



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人を愛讀せらるゝ

三美人の化粧談

若き公爵夫人の談

其一　交際社會の洗粉

昔と違ひ今の婦人は何しても交際社會に立入らねばなりませぬ、これは夫の事業の幾分を助けることになるんですから、て私もお交際だけは致して居りまするが、何分高貴の方々と交はるのです、から、顔や手先が垢附てゐる樣なとがありましては失禮でもあり恥かしい次第です、夫で私は化粧には多年種々と經驗しましたが、其結果洗粉は交際社界で最も取離されて居るクラブ洗粉が一等完全な者であるとを知りました

某家令孃の談

其二　石鹼をやめて洗粉

玉でも磨かねば光が出ないのにお前のやうな瓦は捨てゝ置けば何んなに爲るか判らない抔とお母樣が常に惡口を仰有るから、妾口惜しくつて、隨分化粧には苦心しましたわ、過日迄は石鹼道樂であれこれと購めて居ましたが頃日クラブ洗粉に代へましてから嬉しい種能く利ますのよ、彼品を糠袋にも入れずあの儘使ひますとスガスガと誠に心持が好く、お母樣に瓦もこの頃は石位になつたつて笑はれますのよ

其三　素顔が綺麗になる

人の妻と成た以上、何も濃厚と凝粧する必要はございませんが他人樣に穢ろしい感じをお起させ申さないやうに心がくるのは女の身嗜でございまず、妾は何でも白粉はつけないで滑くしたい者だと思ひ、肌の生地を細かにし光澤を出すといふ化粧品を色々と使て見ましたが、最後にクラブ洗粉が思つた通りのものであるとを發見しました、此品を使ますと皮膚がすべ〳〵して其上に何とも言へぬ好い香があり素顔が非常に綺麗になりました

尊き家庭

宮妃殿下を始め各貴族の御家庭に於ても目下クラブ洗粉の御用盛んにして此の上納品は東京銀座佐々木氏の手を經て毎月仰付られつゝあり

宮中の御化粧品と女官

宮中の女官の方々を始め東宮御所の女官皇孫御殿の女官の方々は日常御身を清めさせらるるにクラブ洗粉を以て尤も適品なりと賞せられ昨年四月廿六日第一回の御用を三越呉服店へ賜はり其後今日迄の御用數十回に及ぶ

住友家及藤田家兩家庭

日本の大富豪として有名なる住友家を始め藤田家の家庭に於ても昨年以來日本第一のクラブ洗粉を實用品として日常愛用せられ大阪高島屋呉服店は其御用に應じつゝあり

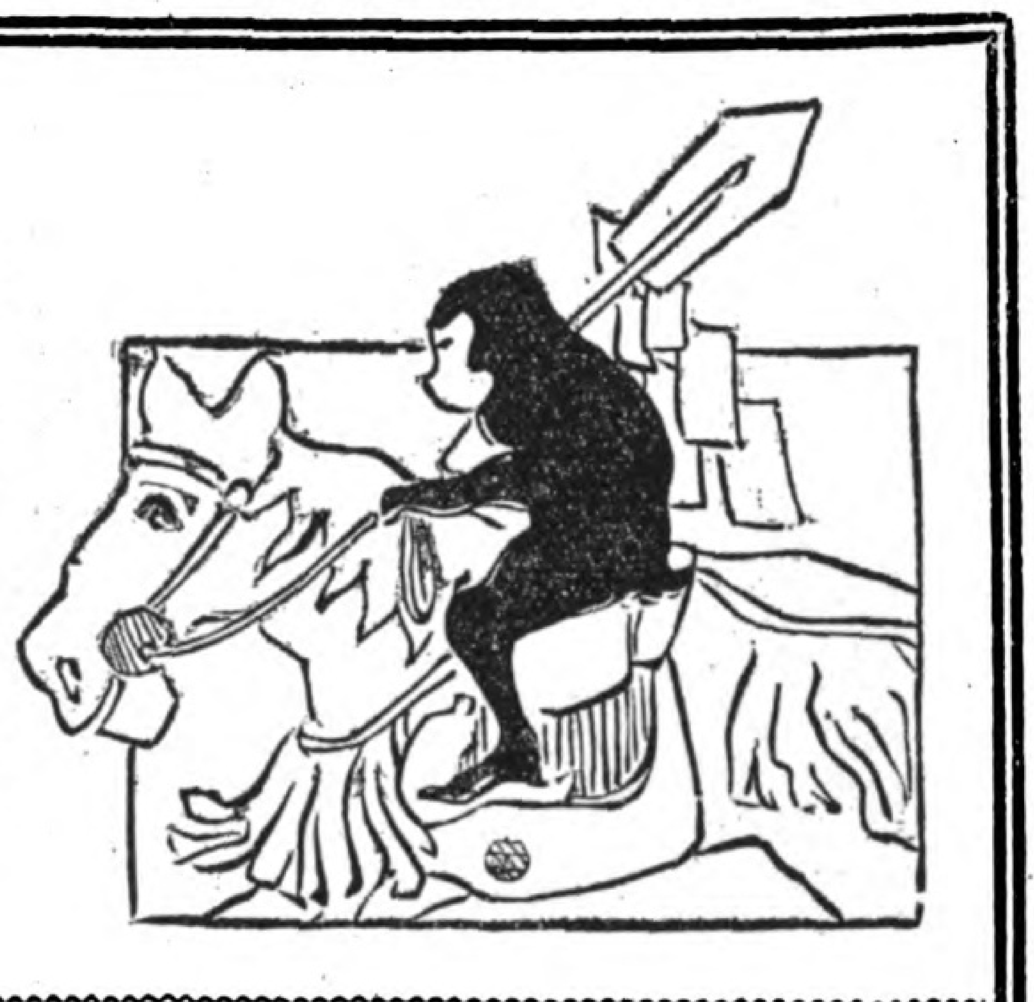
兩大將の令夫人と其家庭

有名なる東郷大將閣下の令夫人及び黒木大將閣下の令夫人並に令孃の君は卅九年八月頃より熱心なるクラブ洗粉の愛用家にして其の重き賞讚は貴婦人間にクラブ洗粉の大流行を現はす所以となれり

岩崎男爵家の御用

淺野侯爵家を始め日本の大富豪として有名なる岩崎男爵家の家庭に於ても亦有名なるクラブ洗粉を實用せられ本郷兼[illegible]商店の手を經て常にクラブ洗粉の御用頻々たり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



閻魔大王の御使者（下）

末摘花

迷信と云ふは恐ろしいもので愚直な人人は、まんまと旅山伏の奸計に乗せられてしまつたので御座います。で町の人々が相談に參りますと待ち構へて居た旅山伏は、さも鹿爪らしく首を傾け『乃公は閻魔大王の御命令て遙々當地に派遣されたものじや。それじやによつて、今年中誰々が死ぬと云ふことは承知しとるが、夫は天機を洩す恐れがあるから、お氣の毒じやが、敎へる譯には參らぬテ』と尻目に人々を見廻しつつ、一段聲を密め『――と申すのは表面の事じや。物には總て表裏がある。地獄の沙汰も金次第……』とナ。閻魔大王も御承知、乃公も承知、方々が御承知なら、未然に救ふ手段は無いでも無い。したが之れは乃公から勸める譯ては、毛頭も御座らぬぞよ。ハッハッハ』とジロリ見廻しました。

小松原地方は元來、土地は肥沃、五穀は豐穰、其上、海産物さへ尠からず取れるので、從つて金持が多う御座います。金で濟むことなら、幾程でも出す、序に二つ三つ不要の命があらば買つて置きたい位に喜びまして、一も二もなく一人前金五十圓宛の出金を致しました。天下これ程馬鹿〱しいお話がありませうか。旅山伏はきつと其時うしろを向いて、赤い舌をペロリと出したて御座いませう。愚直な人々は斯んな風にして、騙されましたが、旅の山伏は何喰はぬ顏て『閻魔大王に獻上して來る』と云つて、多くの黄金と、人々の餞別とを、馬に積んで、飄然として跡を晦ましました。盜人に追錢とは、此事を云つたもので御座いませう。

御人善し揃ひの小松原の人々は、甘く山伏樣が取計らつて呉れば宜いが、若し閻魔樣が諾かぬと仰つたら何とせうと、半ば安心し半ば心配して居ると、其後數年間小松原地方は、幸ひに豐年續きて、五穀はよく實り、病氣で死者などは一人もありませんでした。愚直な人々は全く山伏樣の御影だと、信じてしまつた、夢にも滿着された杯と思ふものは無つたと云ふ事で御座います。

今日のやうに世中が、開けては兒童だつて此んな淺はかな手段て、騙される者はありませんけれども、大昔は小松原のやうに、誠に御目出度い、お人善し許り住んで居た處もあつたので御座います。而して只今なら、此んな横着者は、直ぐに捕まつて刑罰を受けるのてすけれども其時分には、天の網も餘程お粗末で疏かつたものと思はれます。

――支那小說『杜騙新書』より――

世

誠之

ああ筑波根。
遠世ぞ戀し。　紫の
だんだら染の　霞ひく
妹背が原に　童女子ら
童男もまじり　袖ふりし
あはれ歌垣。　乳母が背の
三歳の思ひ出。　世はなべて
かく華やぐと思ひしか。

歌劇 清少納言（下）

竹内蘆笛

人物　帝　清少納言　侍女、甲、乙　他に合唱

清　奉仕の宵のうらぶれと
殘月もほのめく面ざしは
雪こそ花に候はめ

合唱　珍らしや
うれしや今朝の雪づもり

帝　歌情ぞ耐へぬ樣なから
唐と隔てし汝れはそも
知るや此の日の香爐峯

合唱甲　知るや此の日の香爐峯――

合唱乙　深刻き意味知るや知らずや
女詩人の情思は切に
靈光の崇高き影より
美しき天才をも超へて
かしこしや其の容姿も

清　さはれ今
あゝ今こそは
仰せを茲に待るべし――
立ちてよ簾ぞ捲き上げん
（清少納言立ち上り簾を目八分に上ぐ　其間には一面の雪降りしきる）

清　如何にあゝ
妾が不敏許されよ
許し給はれ君の前

帝　いなやいなとよ汝れとては
理想ぞせちのあこがれか
げにや白氏の文中に
青夢をどろかす遺愛寺の
寒鐘は孤枕に遠く聞き
香爐峯には白雪を
御簾掲げて見るとかや
未だうら青春き處女の
想ひはあまり深かりき

清　あゝらうれしや
おん言ば
光明あびてん身ぞや此の
清少納言が光榮なるを
あなうれしやな

合唱　たふとやな
げにも雲井の宮深く
美影も綾羅に麗はしき
殿上人の數のうち
永久のほまれを荷ひつゝ
伸羽ゆたかになぞらへし
深酔ひ美女は
舞ひもせん
園には寒き朝雪の
冷たう人に覺ゆる日
このあたゝかきよろこびは
薫らめ永遠を
御園生に

（をはり）

こぼれ松葉

森田竹子

上

野邊の八千草霜枯れて、いと淋しう眺められ候折柄そも〱樣いつも〱御健にて御勉學遊ばされ嬉しく存じ〱扨も此方は定めなき世と知り乍ら我身の不運託たれて小さき胸には包み敢へず袖に涙の時雨きて乾く暇も御座なく候、あはれ廻りて早き小車の月日は淀みなく過ぎ去りて、悴正美死去り候てよりはや一週年と相成り〱思へば早き十年の昔、そもじ樣妾が姪なる時子の許へ御遊びに御越し候節などは我家へ我友の來給ひし如く打ち喜び君子樣々々と御煩くやおはさんと思はるゝまで、つき纏ひ參らせ好める獨樂も投げ捨てぞれかるたよとらんぷよとそもじ樣御好きの品取り出ては餘念もなく遊び興じ御歸の折などは御袖を扣へて泣き悲しみ候事共今尚現に思ひ浮ばれ申し候、身もいと壯健にて殺すとも死すまじなど彼の叔父達に笑はれ申候ひしが、さばかり健に見えたりし彼が姿は露の乾ぬ間の朝顔のそれより脆く消え果り〱そもじ樣遠く東都に御遊學の御事定まり給ひて、明日は御出發とて御別に御出遊ばされ候節合憎と正美は不在にて御留め申上げ候ひしも御急ぎとの御事にて御歸り遊ばされ後へ正美歸り來て一方ならず御名殘を惜しみ、さらば明日は幸ひ日曜なれば道まで見送り參らせん、疾くゆきて御物語をもせん、と未明に起き下僕伴ひて一里の山道勇みて御許樣を御尋ね申候處口惜しくもそもじ樣にはみ俥の都合にて逸疾出立たせ給ひし由悴の落膽云ふばかりなく人目も愧ぢず泣き叫びしを御母上樣何くれと御慰め下され下僕に助けられつゝ辛じて家に歸り物も食うべて打臥し居り候を、祖母も甚く氣遣ひて、君子樣に御目にかゝれざりしとてさのみ歎く事かは、軈夏休には歸省り給ふべきに其時はとく走せ行きて迎へ參らせよ御物語もせよかし大方の事はお手紙にて事足りぬべきに徒に沈みてあれば君子樣女々しとや呆れ給はむ、それよりも學びの業をいそしみて疾中學に入る用意をすべきにこそ、と勵まされ氣を取りなほして折ふしの御文の便を樂しみに只管勉學いたし候かひありて優等にて小學を卒へ中學へも事なう入りて常に成績よく行末の樂まれて正美だに幸くあらば我身は如何にありとも身の憂き事はつゆも思はず只々正美が成功ん日をのみ祈り居候、そもじ樣は未だ妾が素性を知り給ふまじく候へば筆の序に申上げ候、妾は某藩士の娘にて兄弟はなく三歳の折母死去り程なく父も跡を追ひ候由にて父が臨死の際に同藩士なる親友松下と申人子なきを幸養女に貰ひ受け育てくれ候うち男の子生れて次ぎ〱に男女四人の子を設け候ま妾は當鳥部屋家へ嫁ぎ申候。

新刊二書

△**大石内藏助**　大阪朝日新聞に連載せられ大好評を博せるもの。美裝して京橋南鍋町隆文館より大景品つきにて發行せり。二月四日より四十七日間特價上製一圓六十錢並製一圓三十錢

△**女子作文良材**　河井醉茗、溝口白羊兩氏共編にかゝる。全三百五十頁の美本なり。定價四十五錢。京橋北槇町三星書房發行

右二書とも他日詳く紹介することとすべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

春の晝

編輯局同人選評

二等　靜岡　安永みち子

日射かぎらふ日の眞晝
南の椽の梅ヶ枝も
霞の衣に包まれて
静かにとくか朱の袖

半ひらきし窓のうち
主はをとめ。文机に
子猫の夢もまどかにて
春はたけなわ。香に匂ふ。

評。春の晝の趣き、可憐なる女主もわざとらしからずして佳し。

三等　東京　中限富士子

吹くとしもなき花かぜの
薫りゆかしみ逍遙ふや
長谷觀音の梅のはな
今を盛りと咲きみちて
見る袖にさへうつる香の
つゝみかねたる心地かな
唐犬もまたあくびして
堂のかたへにうづくまる。

評。それとことはらずして、春の晝の長閑なる趣きを調べ出せる、いとうれし。

讀者欄

前號豫告の通り、此度から讀者諸姉の領分が出來ました。讀者欄開設と同時に編輯机上にうづ高く集まつたのが、賞品受領の諸姉からの消息であります。で第一に夫を掲載する事に致しました。(係記者)

感謝の聲。▲過日御惠送の賞品確かに入手仕候就ては此節は殊の外多忙に候爲め貴誌へ寄稿も相成不申御疎音に打過候次第然るに此度拙稿一等に當選との御報に心當りもなく他の方のと御まちがひと存候、兎に角物品は御預り致し置候へども一應御取調下され度云云。(花輪よしの)　▽記者申す。第百四十一號に甲として御座いますのが、平常の一等に相當して居りますから差上げたのです。それに御尋ねの和歌は、春季雜題と廣くして置く事になつて居ります。▲本日御贈に御賞品主婦の職分壹の卷並繪はがき十二枚落手仕候深く御禮申上候愛國婦人會員として貴紙を購讀致さゞる人多く候間なるべく勸誘致し居候云々。(ゆき子)　▽記者申す。本誌も漸次改良して參りますから何卒宜しく願ひます▲拙き歌文御掲載の榮をかたじけなくし深く御禮申上候賞品御贈與下さるゝにつきいろ〳〵と御手數かけ申し御許し下され度候寒さの折柄編輯局御一同樣の御健康を祈り上候(みち代)▲寒冷甚しき此頃御諸の益榮え給はん事を神かけて祈上候こたび計らずも天位に當選致候とていとも尊き　總裁閑院宮妃殿下の御染筆遊されし軸物並に常に慕ひ參らせる多くの姉君達がゆかしき御水莖の跡鮮かなる繪葉書あまた御惠み被下ありがたく存上候今後も及ぶ限り御つとめ申すべく候(阿部さゐ子)▲一　總裁殿下御染筆御掛軸。一主婦の職分。一繪葉書三十枚。以上應募和歌當選賞品として御送與下さいまして、有がたく御受け致しました。(末田貞節子)▲寒氣きびしく候ところ御社御一同樣の御清福御歡び申上候。扨此たび御社より賞品として美事なる扇子一對繪葉書拾枚御送り被下難有御禮申上候何とぞ皆樣へよろしく願上候(鈴木榮子)▲寒氣きびしく御座候處御一同樣には御機嫌よろしき御事慶たく存上候さてこの度は主婦職分一册外にゑはがき拾枚賞品として御送り下され候處只今着いたし候まゝ御禮かた〳〵右御報知申上候かしこ(大谷たか子)▲　總裁殿下御染筆軸並に主婦の職分ゑはがきいろ〳〵御送り被下難有頂戴いたし候(武田須磨)▲俳句地位當選の賞品として主婦職分壹卷正に拜受仕候也(莊司種子)▲繪はがき澤山扇子一對御景品として御投與被下正に受領致候也(莊司種子)▲御社益御隆盛の段奉賀候扨此度は不肖小妹儀人位當選の榮を蒙り美しき扇子繪はがき御惠送被下有がたく御禮申上候草々(中山正子)▲このほどはいと〳〵尊き御品御惠贈下され身に餘りて辱けなくあつく御禮申上候かしこ。なにをもてむくいまつらんしたくさの身にあまりけりそのゝみめぐみ(伏島たき子)▽美しき御志嬉しく存上候(記者)▲拜啓ます〳〵御盛大に赴き候事慶賀の至りに存候扨は拙き言葉に對して過分の御賞品御贈り下され有難く御禮申上候先は右御禮までかしこ(水野淑子)▲寒さ日に相增し候處編輯局皆々樣には御きげんうるはしく御出精の御事何より嬉しく存上候私事も御かげさまにて事なく暮し居り候まゝ御心安く御思召被下度候まい〳〵投書いたし御手數御かけ申恐入候又この度は御恥しき俳句御賞いたゞき小包二ヶ昨日たしかに落手いたし嬉しく御禮申上候なほ今後とも宜しく御たのみ申上候先は御禮かた〳〵御受まてかしこ(古川よし子)▲今朝は思ひがけなくも尊き御品に加へて姉君たちの言葉の花も咲き匂ふ繪はがき數〳〵御送り下され誠に有かたく御軸ば早速わが室にかけ大切にいたし朝夕臨しみて拜し參らすべく厚く御禮申上候かしこ(中限富士子)▲今朝とく郵便の一聲常よりも勇ましく聞えて走り門口に出づれは思ひきや愛國婦人よりの御送物かたじけなく頂戴仕候さても妾は一昨年の頃より貴誌を愛讀して折々拙なき文を投書するは決して〳〵斯るものを頂かんとするの目的にあらずああ妾は此草深き山里に農夫としてのみ日を送らん事の本意なさよ如何にもして學びの道を究めんものと思へど學ぶ師のなきを如何せんされど妾は只此雜誌を唯一の師と賴みて農事の暇には家人の目をぬすみて机上に獨り文の林を辿るに候。吁雨につけ風につけ拙き文を綴りては投書せしかど沒書の悲運に落ちたるもの實に數十回。はからずも此度一等の撰に當りし時のうれしさよ恰も高根の花を折りたる心地せられうれしさに堪へざりき。云々(留目文子)▽人には其々天賦の職分があります。天命と云ふのが夫てす。都て記者のやうに齷齪するのも天命、野邊で青草の香を友とする貴女も夫が天賦の職分なのですから、安んじて今後も本誌の爲に盡して戴き度と存じます。(記者)▲臨寒の折柄皆々樣には益々御健かに渡らせられ候御事萬々目出度存じ上まゐらせ候さて先日賞品として主婦の職分及繪はがき御送り下され、有かたく御禮申上まゐらせ候云々(渡邊豐子)▲先日は俳句に、此度は又和歌にかしこくも總裁宮殿下御染筆の軸物ならびに常々慕ひまつれる友垣の匂ゆかしき言葉の花水莖の跡さやかなる繪はがきを御惠み被下誠に難有御禮申上候(阿部さゐ子)

閨秀百佳選

應募用紙

△注意▽　一枚一首を限り認むべし(一首以上沒書とす)

住所	
姓名	

愛國婦人

「閨秀百佳選」募集に關する詳細のこと第一面にあり、就て見られよ

肺炎に罹りたる後スコット乳薬を用て健全となりたる例證

愚息儀肺炎に罹り滿三ケ月間伏蓐罷在り萬一回復するも結局は肺結核となるべしとの事にて總身肉落ち骨顯れ見るも不憫の容体と相成申候然るに醫師の勸告に由りスコット乳薬を服用せしめ候處未だ一壜も飲み盡さゞるに食慾大に進み總ての經過良好となり現今にては却て罹病前の何れの時よりも健全にて拙者共はスコット乳薬が愚息に與へたる好果を視て右愚息の平癒を以て全くスコツト乳薬の効驗の致す所と確認致候、依て茲に相替らずスコット乳薬を嗜好致候

千九百六年三月十一日

シーフヰルド、ドールセット街六拾三番地
ジョン、イー、ブレーキー

右快復の理由

右ジャッキー、ブレーキー、が肺結核とならずして快復したるは全くスコット乳薬中に含有する優逸なるロフォテン大口魚肝油(最上等にして最高價なる肝油)が其肺臟を癒やし其全身に良好堅靭なる筋肉を造成せしむるの精力を有したるが爲めなり

他のありふれたる大口魚肝油乳薬は斯くスコット獨得の完全なる製法に由りて充分に消化し易くせられたる最も純良にして最も活力に富める肝油にて製せられたるものに非らざるが故に斯の如き偉功を奏する能はず

包裝の大口魚を負へる漁夫は前述の如き驚くべき快復が唯偶然のことに非らずして確實の事實なることを保證す

胃病良藥　太田胃散

隆文館發行書目

報德の研究　定價六十錢　郵税八錢
三义文集　定價四十五錢　郵税六錢
婦人と小兒　定價八十錢　郵税八錢
粗食養生論　定價廿五錢　郵税四錢
割烹新書　定價八十錢　郵税八錢
宗教講話　定價九十錢　郵税八錢
哲學と人生　定價一圓　郵税八錢

色白くなやかをでだす　松澤ホーサンシ石鹸
大形一個　廿錢
小形一個　十錢
花か物あり右商標と松澤名義に注意
東京本石町四丁目　松澤常吉化粧品部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

——春季雜題——

大口鯛二大人選

○○一等 臺灣 浮洲德子

黑田川つゝみの小草もえ出てかすみ初めけり小筑波の山

評日。黑場の春景寫し得てよし

○○二等 越後 阿部秀子

鶯のやとゝ思へと梅の花一枝ゆるせ母のみやけに

評日。母を思ひ鶯を思へる其情淺からず

○○同上 山城 古川よね子

夕けたくわらやの烟末きえてのとかに暮るゝ春雨の空

評日。聖岡亦具閑也只新新ならざるをうらみとす

○三等 東京 中隅富士子

てゝよりは梅さく村の近からし行き逢ふ人の袖かをるなり

同 伊勢 日野千鶴子

淺みとりもゆる柳のしたり枝にゆられなからも鶯のなく

同 京都 渡邊豊子

二つ三つ梅ほころひて鶯の初音うれしき今朝にもある哉

四等

梅咲きてうくひすなきてこのころは友こひしさのいやまさりけり 大阪 十合みき子

をり／＼は知らぬ人にもとはれけりいほりの梅の花さきしより 福島 霜田よしの

牛おひて歸る童の藁衣に二ひら三ひら梅の花ちる 青森 留目文子

よんの雨のつゆものこりて春風になひくむき生のうつくしきかな 大阪 今井糸子

五等

狩人のほかには訪はぬ山かけのいほりに清き梅か香そする 山口 末田貞節子

鶯に我百問はんふるさとの軒はの梅は咲きや出しと 大分 桂木清閑女

梅かりしわかやま風もはるはきてかきれのとかにかすむ夕暮 堺市 金田久子

こゝろなく折な驚しそうるはしく咲てかをれる梅の初花 愛知 下郷きみ

遠方の人にみせはやいせの海のとかにかすむはるのけしきを 三重 中島千萬

六等

風たえてかすむさとわの朧月夜いろこきかけや柳なるらむ 山口 末田竹子

評日。よろしけれど類想あり。

岩木根のゆきの光もおほろけに見ゆるや春のしるしなるらん 青森 岡田正野子

評日。仝上

をとめ子がまなびの窓をおしひらきけさ見いてけり庭の初はな 三重 荘司種子

谷の戸を今朝出てぬらし梅か枝にうひ／＼しくも鶯のなく 函館 安藤喜代子

つくしつむ少女なるらん八重霞たなひく野邊にうた聞ゆなり 鹿兒島 藤野錠子

吉野山花のさかりを後に見て鐵井はるかに歸へる雁かれ 大分 桂木文子

わかなつむ妹かたもとにちりかゝる花の吹雪を蝶のおひゆく 岡山 山崎露子

氷居し木の葉もうきて昨日今日里の小川はけふりそめけり 函館 安藤喜代子

くろかれの道ゆく汽車もおと絶えて霞たなひく武さし野の原 北海道 加藤はる子

我汽車のまとより見れば霧かすみたなひきそめて梅さきにけり 堺市 金田つる子

鳥海山峰の松のみぼのみえてかすみこめたり大宮のさと 山形 阿部さゐ子

摘みませる君なくさめんすへもやといけにし梅の咲くうれしき 岡山 清水うめ子

老いませる母をともなひつくしつみのとかに遊ふ春の野そへ哉 三重 小島駒子

うら／＼と春の日かけのうつろひてよもきか庭も長閑けかりけり 横濱 鈴木まつ子

春風のひとおとつるゝたにのとをあけてゆかしき鶯のこゑ 遠江 萩原ふみゑ

鶯さけて我もむかしは遊びにき思出おほき野邊のわか草 青森 留目和歌子

竹も木も世にもえいつる春なれは人もはからんひとゝせのわさ 三重 荘司種子

鶯も初音をいそけ我宿の梅は春日を待たて咲けり 芝區 土師利枝子

こゝかしこまた白雪は殘りつゝ遠山もとにかすみ棚引く 山形 蒲招千賀子

のとかなる春のひかけにもえ出てぬしつか垣根の草もみとりに 兵庫 頴弁嵐子

おほもりの庭は丈してしらせけり梅やゝさきぬ見に來ませよと 麹町 木俣六女

うれしけに鳥も囀りてひんかしの山より霞むけふのうらゝか 愛知 下郷すみの

みとりこき松の葉こしに見し月も花の梢に匂ふころかな 岡山 横川明子

追風を眞帆にうけたる船なれと行くへも見えぬ春の海つら 宮城 山形ふみ子

ほから／＼朝日も匂ふ山の端は花より明るこゝ地こそすれ 愛知 石川類子

朝かすみかゝらぬ山もなかりけり谷の清水の音はかりして 靜岡 安永みち子

あつま路の友にみせなはしなさためいかにかなさん月の瀬の梅 大阪 佐伯眞子

梅はさき鳥はうたへと我の春をなとてかくしも思ひみたるゝ 宮城 山形文子

見るかきり野邊はかすみて春鳥の囀つる聲ものとけかりけり 愛知 平松いと子

さくらはな匂ひこほれて霞みけり都大路の春のあけほの 鹿兒島 松村壽賀子

もえ出る小草にかろくあは雪のかのこまたらにおける春くほ 遠江 萩原さだ子

この春はわれも故郷に歸らまし月もすみ水の花のさくころ 岡山 西村具子

春の日のうらゝ／＼となりにけり伊勢に詣する雲國の民 紀伊 西山數子

短文

編輯局同人選評

雪

二等 靜岡 安永みち子

雪はコン／＼殿は一升！と愛らしい聲に小刻足の音。さてはと外へ出と五つ六つから十才位の小供ワイ／＼寒さを忘れて遊んで居る。中をすり拔けて七ッ八ッの可愛盛り、垢じみた襟を寒さうにかき合せて、手には藥瓶を大事そうに抱へ赤い霜ぶくれの足が破れた足袋から見えて、小走りに走りゆくいたいけの後姿、あゝして毎日一里に近い道程を醫師の許に通ふのである。ころげないやうに、ころばさないやうに……。

評。題よりも想が勝つて居る。選者は其情のあふれた處をとつたのである。

三等 宮城 山形幸子

葱の香たかき臺所には膳部をとゝのふる音かた／＼ときこえる、空は雪氣の風さむき夕庭に、梅の蕾を數へて居ると、折柄椽側の障子をあけて、妹のはしやいだ聲「姉様御飯ですよ」

評。葱の音高き間に目をつけられた處が佳いのです。

鹿兒島 藤野錠子

ゐ——一聲の汽笛を名殘りに汽車は搖ぎ出した。知るも知らぬも旅は道連れ。滿平藤樽互に慣れ／＼しい話を交換して居る中に御殿場に着いた。窓より首を出せば何日も變らぬ富士の姿の氣高さよ、願はくは富士の白雪、わが日の本の御光と共に、いつの世までも消え失せぬこそ有はしけれ。

評。簡潔に書くことに氣をつけると、佳いものが出來るやうになります。

越後 歌川みちの

霜さへ淋しき田舍路を降り積む雪に凍えた小さき手には權利を重げに持つ。高靴の足下たど／＼しきは六つ七つか、まだ八とは見えぬ頬赤き男の子、いかなる月日の下に生れてや來にけん、あはれその子。

評。仝上

山形 阿部さゐ子

三つ四つの楓葉にあられまじりに雪のふりかゝれるあはれさはいはずもかな。冬もまなかになりぬれば、日日ふりつむ雪に世は白銀の世界と化し、いと物すさまじきに十五夜の月影の皎々と冴へ渡りたる、老女の化粧せしにも似て物すこしとやすさまじき極みにこそ。

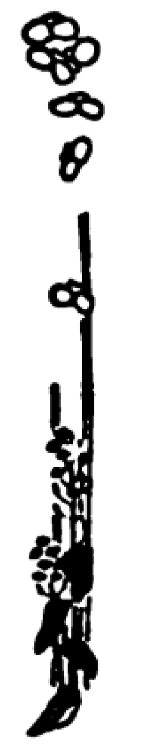
評 仝上。なほ文字を丁寧に書かれたし。

備後 下野園子

雪の日友を病院に訪ひまゐらすれは、さも驚き給ひしごとく、やつればてし面は血の氣さへ見えず、あな哀か、この雪にとのみ。跡は涙にかきくれ給ふ。靜かなる室は蘭の香たかく、誰が心かけたまひけむ御枕邊に挿けし白梅の花ほのかにゆらぎて見ゆ。

評。想は此回の應募短文中の白眉である。惜しい哉餘り長すぎたので選に入れなかつた。

又日。此次ぎ應募される時は、故に短縮して出した位の、短文にして御出しなさい。



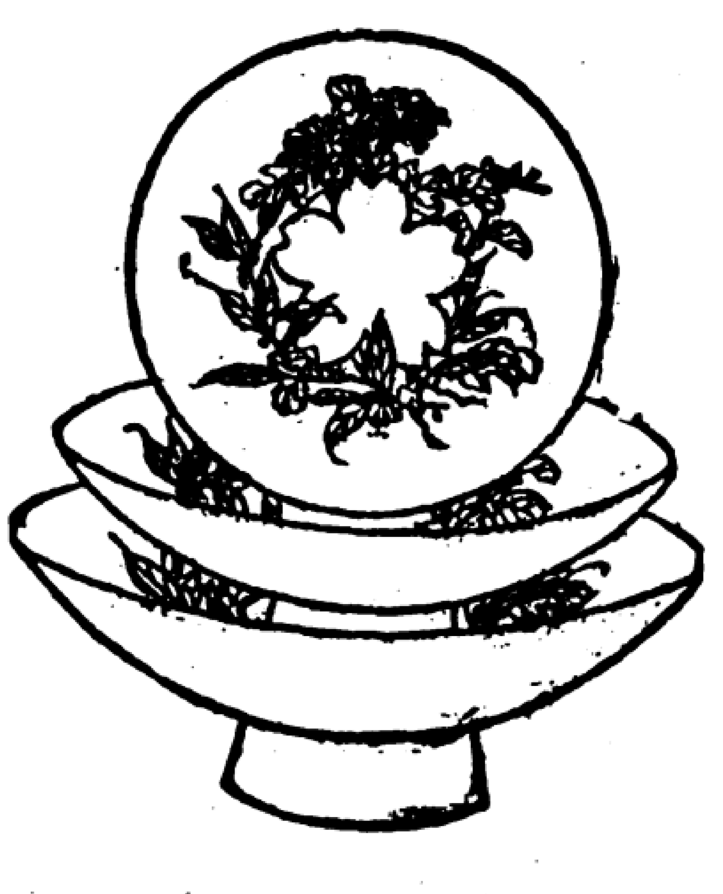
内科専門

杏雲堂醫院

神田區駿河臺 電本一六六九

院長 醫學博士 佐々木政吉

金銀盃類



貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達 玉寶堂

電話下谷（特九六五番）（一二四番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京の女學校

（一）實踐女學校

相良崇陽

東轍青山線の終點、青山學院の正門を左に折れて、靜かなる町並を、やがてだら〱坂になつてゐる中程から左折すると、誰れしもそれと肯かるゝ建物がある、これぞ前の學習院女學部長下田歌子女史の經營に係る私立實踐女學校てある。予は幾度か此の校に出入した。蓋し眞面目に此校を窺はんが爲めであつた。

日の說法も終に一の躬行に及ばざるが如く、智的敎授は子女の敎育に案外良結果を與えざるに反して、敎育者の性格行動が及ぼして子女の品性修錬に與ふる影響は極めて偉大なるものがある、敎師雇聘の標準が一にここに置かれ、同時に修學に志すもの、學校の撰擇に注意する、正に當然の事てある。さて實踐女學校に於ける其主腦たる校長は如何なる人物てあらうか下田女史なりといへば今更めて言ふの必要はあるまいが、折り〱に筆にせらるゝ批評を聞くに、あまりに西洋かぶれの所謂ハイカラてある、權門に媚る無主義無節操の婦人てあるかのやうに聞かれたこともあり、甚だしきは權謀の權化なりとまで罵られた事を聞いたこともある、女史は果して斯くの如き性格の人てあらうか、然らず、否らず。思ふに何人と雖も、完全なる性格を有せざるが如く、女史も又圓滿なる理想の婦人として仰慕し得ざる缺點は有るてあらう、されど是等評者の言に從つて直ちに女史を批判せんとするは甚だしき誤解である曲解である。女史は即ち西洋通なり、然れども一も二もなく西洋主義を援用して日本固有の美德を破らんとするが如き經驗無定見の人に非ず。女史はよく權門に出入す、されど徒らに彼等の鼻息を窺ふて自我を沒するが如き不見識の人てはない。少くとも女史は我國現代に於ける第一流の文學者、敎育家、而も賢婦人であることは、何人も否定し難き事實てあらう。實に女史は我國婦德の神髓を捕へて補ふに先進國の美所を以てし、やがて時代と世運とに適應する女性を養成し以て國家社會に貢獻せんと勉むる人てある。而して女史の理想は現はれて實踐女學校となり麴町元園町に校舍を構へて幾多の女子を敎養しつゝ數年を送つたのてあつたが、校の發展に伴ふて校舍の狹隘を告げ、加ふるに地が繁昌に赴いて子女教育の好適地にあらざるに至つたので去る卅五年の頃府下澁谷村なる常盤松御料地を借用して新校舍を建築し並に生徒を收容した今の實踐女學校の校舍即ちそれてある。此の間女史は華族女學校の學監となり續いて學習院女學部長として公務極めて多忙專心校務に從ふことを得なかつたのてあるが、幸ひ校舍の移轉に先ち國學者にして而も數十年來女子敎育に經驗を有する温厚篤實なる青木文造氏を副校長に得て敎授訓育の事より校の經營に亙るまで巧に理想を實現し遺憾なく其特色を發揮し來り、今や六百に近き學生は、主副の校長を父母と仰ぎ師と頼み、三十有餘名の敎職諸師に敎導せられつゝ近き未來の良妻賢母たる資を受事しつゝあるのである。以前公職を退きし同女史は、晩年を文學に樂しみ、專ら該校の經營に當らんとし既に從來の實踐女學校並に工藝女學校に改善を加へ、新學期即ち來四月よりして其理想を實施せんとしつゝあるのである、されば同校の將來は益隆運に向ひ女子敎育上多大の效果を與ふることてあらう。今親しく其の內容を察するに、從來の實踐女學校及工藝女學校を合同して私立實踐女學校と稱し、同じく帝國婦人協會の所管に屬することとなし、目的は、明かに、我國固有の女德を啓發し現今の社會に適應すべき婦女の養成に勉めんとするので、如上の目的を達せんが爲めに左の三部を置かれてある。

一、中等學部　修身齊家に必須なる實學を敎授し良妻賢母を養成する處なりといへば即ち文部省規定の高等女學校と同一なりと、見て可ならん。從て修業年限は五ヶ年にして、入學資格は身體強壯品行方正にして尋常小學校卒業程度（新小學校令に基づく義務敎育六ヶ年）者たるべきことてある。學科も高等女學校と殆んど同なれども只英語科のみは、事情あるものは是れを缺くことを得るとし、該時間は裁縫に充つるやうにしてある、尙國語科中詠歌は隨意だといふ。

二、工藝部　は工藝女學校の變稱であつて女子に必須なる實學を授くると共に主として技藝を敎授し兼れて自營の道を講ぜしむる目的てある。入學資格は前同樣にして、敎科は本科、專科の二科に分れ本科は學科術科の兼修にして、專科は術科の專習てある本科の修業年限は三ヶ年にして、專科は二ヶ年てある。

三、高等專門學部　は新たに創設せられたもの、分つて文學科、家政科、技藝科の三科とし女子に高等の學術技藝を授くる處てある。故に入學資格は高等女學校卒業以上のものてあつて、技藝科のみは本校工藝部卒業以上の程度となつてゐる。修業年限は各二ヶ年にして、當分の內は文學科と技藝科の內裁縫科のみを開始する都合てある。

學年は四月に始まり翌年三月に終る等其他入退學等他の普通女學校と大差なく、只場合によりて孤獨貧困なる女子の爲めに貸費生の設けあるが如き、寄宿生の規定ある等稍異なる點てあらう。外國留學生部を設けて清國女子留學生の爲めに中學科、師範科、工藝師範科、を設けて三ヶ年の修養をなさしめつゝあるは異例てあらう。特に寄宿舍の設備比較的完全なるは都下の女學校中稀に見るところてある。

美しき理想も其實現は困難なるが如く、女子敎育者の等しく感ずる困難は其中庸を得ることてあらう。貴族的に偏せざれば、極端なる平民主義に育てられ、自由開放に過すれば輕跳浮薄に流れやすいといふやうな輿論は吾等の常に耳にする處てあるが。時たまの參觀にて其校の眞情を窺ふことは勿論不可能のことてはあるがされぱとて又其幾部分をのぞき得ない限りてはない、昔に聞く實踐女學校は如何にやと幾多の想像を畫きつ、校の玄關に立てば同校固有の制服（校衣）を纏ふた生徒に先つ何とはなしに奇異の念を浮べつゝ運ばれし上靴をはいて導かるゝまゝに應接室に入つた、學監ならざれども淸楚なる結構、暫し椅子にもたれて四壁に掲げられし寫眞より、それよりそれへと眸を轉ずる間もなくお茶も供えられた。忙しき中に意を酌みて迎えられし青木副校長、溫顏に微笑をたゝえつゝの物語、やがて案内せられて校の內部限なく參觀した。途ふ等に會釋しつゝ過ぎ行く生徒何れもゆかしう見えて愛らしく、輕跳ならざる擧動に流石はと感ぜらるゝとり〱に感想を浮べし中に特に紹介したきは寄宿舍の淸潔なることてある。百にも近き生徒の起臥する處なれば種々の裝飾もあるてあらうとのぞく間每〱何れもサツパリと掃ひ淸められて塵少しも止めず、整然と調えられし書机、文庫、書籍等、しだらなき婦人に見せてやりたい程てある、校主舍監の性格も偲ばれつゝ出入する生徒のゆかしさも想慕せらるゝことてある、與に入りて食堂より盥所、さては入浴場まで殘りなく觀つたが何處も只淸潔て整頓されてたしかに他の模範たるべしと感じた事てある。其他敎授訓練等敎育上に關して批評すべき多少の材料を得たつもりてあるが、そは新たに筆を更めて他日讀者に報ずる時があらう。

▼懸賞圖案募集▲

豫告の通り本社に於ては、今回愛國叢書第一篇女德論叢を出版するに付、懸賞を以て其表紙圖案を、普く江湖一般より募集することゝなれり。應募せんとする者は、左記注意各項に依られたし。

□應募規定□

一、四六版大表裏とも二度摺の事。
一、表には女德論叢、裏には愛國叢書の四文字記入の事。
一、〆切三月末日限の事。
一、圖案意匠は高尙優雅なるべき事。
一、麴町區飯田町愛國婦人發行所內、圖案係宛の事。

一等　賞金拾五圓
二等　金拾圓　各一人
三等　金五圓
以上

應募圖案の當行所に於て、專門畫家に依囑し夫々嚴密なる鑑査を經て、其結果を本誌上に發表す。

最新美顔法

ニキビとアレを治す法
白粉を美れいにつける法
寒さと皮膚の養生法

野に咲ける一輪の梅花は物寂びしい此頃の天地に言に云はれぬ興あるが如く美るはしき婦人は其家庭と其の交はる社會に不斷の樂を與へるのであります故に美貌は婦人の生命てあるのみならず出來得る限り自分の容色を整へる事は老若の別なく婦人たるものゝ義務と存じます。寒氣酷しく人の皮膚は動もすれば荒れ易いのであります故に婦人方は固より殿方も常に注意して夫を豫防せねばなりませぬ夫れにはローヤル水を御使用になるに限りますローヤル水は皮膚の荒を防ぐのが特長て常にローヤル水を御用ゐになれば顔のあれることなぞは一向御座いません

化粧と云へば單に白粉等を顔に塗る物と思召す方が多い如うですが夫れは丁度土臺のない處へ家を建てると同じく大變な間違て御座いましてつまり美つくしい皮膚があつて始めて美るはしい化粧が出來ますのですから御婦人方は常に皮膚の營養に御注意なさらないといけません皮膚の營養に御用ゐになるには、ローヤル水に限ります殊に此の頃では冷氣に皮膚が收縮するため兎角白粉の伸びが惡く少し經つと直ぐ白粉がハゲて見苦くなりますがローヤル水さへ御用ちゐになれば白粉は何時てもよく伸び鉛毒て顔の黑くなる事もなくどんな寒氣にもヒヾアレの患なく且つ色を白くし肌理を濃やかにしニキビ、ソバカス等を未然に防ぐ効があります定價は大五十錢、中卅五錢、小廿錢、郵稅は十二錢、郵劵代用一割增、發賣元東京銀座一丁目ローヤル化粧料發賣元なる佐々木商店てす

最上醬油　キハク印

於淡路島博覽會　名譽大賞牌受領

醸造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門　信號（キハク）

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛　電話浪花五七七四

キハク印醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判てすどーか其あぢのよくてそして經濟てあると云ふことを御ためし願ます

二枚折　藤井式衣桁

定價　甲、六圓　乙、五圓五十錢　丙、五圓

東京市麴町區三番町廿九番地
製造販賣　藤井兵太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冬季雜題

應募俳句　内藤鳴雪翁選

天
金明水銀明水の氷柱かな　宮城　山形すみ子

地
寒月やみつたの畔に鴨眠る　京都　渡邊とよ子

人
雪の夜や焚火に動く壁の煤　三重　鈴木はる子

秀逸
入日さす山懐かしき小春哉　宮城　山形ふみ子
霜門や枯野いつきに僧一人　北海　加藤すゑ子
喰うりや一むれ鶫く時雨哉　三重　荘司たれ子
兵兒ゆ月のしおなる寒稽古　鹿兒島　藤野えつ子
衣配り山の如くに長者かな　紀伊　西山かず子
辻占を賣は誰が子ぞ夜の雪　京都　池田美登子
木枯に亂だれてほそる柳哉　芝區　中隅ふじ子
頭巾きた人も行くなり梅林　岡山　清水うめ子
甘酒に醉ふて小春の暖かさ　三河　吉田初榮子
辻堂に巡禮ひとりゆきの空　同上　石川きよし
乘馬に道開きけりとしの市　三重　西山ひさゑ
辻占のよび聲とほし寒の月　大阪　佐野なほ子
狐なく聲に近づく夜さむ哉　山城　古川よれ子
瘦兵の碑を掃すたまあられ　山口　末田たけ子
紅梅や一ひら散りて霜の上　山形　阿部さゐ子
物申にたゞ返事して炬燵哉　北海　加藤すゑ子
こつ〱と敲く人有梅の門　東京　栗原花園子
紅梅のまどに歌よむ内侍哉　東京　肥塚きみ子
前も山後も山やふゆごもり　岡山　西村ちやう

◎醫者と藥

病氣のときに賴るべき者は醫者と藥です此の二ツが相待つて始めて治療の目的が達せられます醫者ばかりよくても藥の調合法が惡ければ何の效能もありません又藥の調合法がよくても原料が惡ければこれ又何の效果も得られません茲で私どもでは醫者の處方で作る藥は經驗ある藥劑師に擔任させ尙藥の原料は私共の試驗室で一々密かに檢査した者を調合するのですから調合法も原料も確實で藥劑としては完全なものです今や東京郵便局の指定調劑所たるの光榮を有して居ります
所在は東京神田今川小路三丁目　尾澤純良堂
藥劑師　大西橘三藥局

大日本女學會

△新學期を開き會員を募集す▽

●本會は女學通信敎授の鼻祖にして明治廿八年創立以來四萬人の會員に女子必須の諸學科を講習せしめたり
●本會は伏見宮博恭王妃殿下を總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を統べ第一流の諸大家講義を擔任す其基礎の確實なる講義錄の有益なる夙に世の定評ある所也
●本會は創立十週年に當り畏くも皇后陛下より御歌特賜の恩命を蒙りたり
●本會は明治卅六年以來宮中歌御會始に選歌の光榮を擔ひし會員五名に及べり其他文部省撿定試驗に合格せる者も少からず以て本會敎授の效果を知るべし
●本會は高等科と普通科と二種の講義錄を發行す月謝は高等科五拾錢普通科貳拾五錢也詳細なる會則希望者には葉書にて請求あり次第進呈す

東京青山原宿二百十番地
大日本女學會
電話新橋一八三〇　振替貯金一一八三六

めりんす友仙
もすりん
新形太物品々
東京日本橋区人形町通り

◎色を白くしにきび知らず

獨逸國ドレスデン市ロールメヂシンス會社製品

皮膚特效美白新劑
チプリ化粧水

○本品は西暦千九百六年の發明にして常用せば肌を軟密にし自然白色艶麗の美顔たらしむる事は第一の特色なり
○本品は皮膚に特効ある藥品を配劑しあるに依り「ニキビ」「ソバカス」「ハタケ」其他「顔のアレ」等に最も奇効あり
○本品の効能顯著たる事は試驗成績の結果に於て之を確むるを得遂に政府印紙を貼用するに至れり本邦に於て化粧水に印紙を貼用せるは本品を以て嚆矢とす
○東京市内は勿論到る處の賣藥小間物化粧品店にあり品切れの節は送料八錢(六瓶迄)相添へ本舗へ御注文あれば直送す

正價小瓶三十グラム入　金二十五錢

東京日本橋區本石町
日本一手販賣　松澤常吉

しらがの人に告ぐ

○二瓶一組小五拾錢○同大壹圓○送料拾錢
該液劑は獨逸國博士の發明に弊店多年の試驗劑を加味せし新藥にして僅か十分間にて染上り黒き光澤を發し美麗なるは烏羽の如く而して永久禿げる事なし其理由は毛髪にし硫黄質を含めるものにて此の硫黄質と劑と毛中にて化合酸化硫黄となりて黒色を表出するものなれば禿る疑なきは明白なる事實にて皮膚に無害なるは弊店保證致ます
毛染所　東京京橋本材木町三ノ四　岡田藥店

大俵炭

大徳用
山出シノ儘ニテ入堅炭、土釜、切炭、壹俵ハ拾貫目内外入
目方ウリ
市内ハ無賃配達

戸塚商店
(電話本局三二〇八)
神田三崎川岸

院長診察月、水、金、午前、松田醫學士診察火、土午前、窮者施診火、木午前入院診斷後隨時應需
松田、林、兩副長ハ目下當院ニ在勤
電話本局八八八(病院用)八九八(私宅用)
東京市神田區駿河臺鈴木町一番地(御茶水橋畔)
東洋内科醫院
院長醫學士高田耕安
神奈川相州高座郡茅ヶ崎村濱(停車場所在)
南湖院
河野、中村、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後○同時窮者施診
○副長診察月、火、水、木、金、土午前
○入院診斷隨時應需○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手紙中の文字の注意

遺民居士

○候得共　は「候へども」と書くべきであります。何故「候得共」と書いては惡いかと云ますと、候といふ語は「さふらふ」「さふらへ」「さふらひて」「さふらは」など五十音波行、即ちハヒフヘホの活用てあるから、「候得共」と書いてはへとえと假名違ひてあります。「ども」も假名て書くのが本當て「共」を使ふのは假借字てあって宜しくないのであります。

○度　致度、願度、被下度、申上度などの度もあて字にて宜しくない。「たき」とも「たく」とも活く語であるから、假名て書くのが本當てあります。即ち「致したく」「願ひたく」「下されたく」「申し上げたく」とやうに書くべきであります。尤も是は世間普通に用ゐ慣れて居るので、强ひて咎めるにも及ぶまいが、本當の書き方てはありません。殊に度と讀む時はまだしもなれども、御相談申上度事有之など「たく」とは讀まず「たき」と讀む場合にまて此字を當てるのはをかしい事と思ひます。

○目出度　是もあて字にて宜しからず、假名にて「めでたく」と書くべきであります。本來は愛甚しの義だいふことてあります。然し「めてたし」にはいろ〳〵の意味があつて、愛らしいといふ意と麗はしいといふ意と、慶ばしい意とあるのであります。

○敷　宜敷、間敷、などの敷もあて字にて宜しくないのであります。是も「しく」「しき」と活く語であるから、宜しく、まじく、など〳〵假名て書くべきであります。

○何卒　此卒もあて字で宜しくない。「何とぞ」と假名て書く方が正しいのであります。

○拜啓陳者　拜啓と云ふは拜禮して啓すといふ意であるのに、其上に又陳ぶると書いては重言となるのであります。故に拜啓とあれば陳者はやめて、直に用事を書くべきであります。

○妾　婦人が自稱して妾など書くのは厭なことと思ひます。妾は勢力の强い男が女を正妻以外に翫弄物にするものでありませう。今日は一夫一婦を理想とすべきてありますから、妾などいふことは厭なことであります。故に妾など〻自稱せぬやうにありたい。然れども「わらは」といふ語は妾といふ意味てはなく童といふ意味の語であるから、其れはさし支へはない、唯「わらは」と假名て書くべきである妾の字をあて〻はいけないのであります漢字て書きたくば、私とか己とか我とか書けば宜しいのであります、殊に「わらは」は一人の時ばかりて複數に用ゐた例は古來あまり無いといふ事てあります。故に「わらは」とは使はれぬのである。複數のとき、私等、私共、己等、我等など〻いふべきであります。

○子　是は手紙には限らぬが、序ながら申しておきたい。自分から名前の下に子の字を付けないのが宜しいと極めて、手紙にても名刺にても、たとへば秋野濟といふ樣に、子は添へない人がありますが子の字は古來自ら付けてさしつかへないのである。殊に秋野濟と云ふのでは知己てない人には男だか女だか區別にも困る秋野濟子とあれば直に女子といふことが分る。尤も正式の時、例へば宮中歌御會始の詠進などの時は、戸籍上通りに書くべきてある。其人の戸籍上の本名が濟てあるならば子を添へぬことてある。若しも本名が濟子てあるならば本名通り濟子と書くべきてある。近頃は戸籍上に子の字の添はッて居る本名が多くなった。其本名中の子の字をわざ〳〵省くのは宜しくないのであります。

○かしく　手紙の終りに「かしく」或は「可祝」など書くのは誤てある「かしこ」と書くべきであります。

○のふ　御障りのふ、かはらせのふなど書く人がありますが、甚しい誤りてある御障りのふは、御障りなくといふとてあるから、のふてはないなうと書くべきてある。なくのくを和げてうにしたのてある。嬉しくを嬉しう、おもしろくをおもしろうなどと同じわけである。

○相　相願ひ、相逢し、相成度などの相の字は、無意味な字であって、本來は無い方が宜しい。相は相思ふなど雙方から思ふ場合に用ゆる字である。其れを一方からばかり願ふのに相願ふなどいふのは間違ッて居るのてあります。何等の意味もなく用のない字である。

奥村五百子君の一周忌に

光亨

一とかけの衣の襟の言の葉も
おもひ出されてぬるゝ袖かな

つくされしそのことの葉の花も實も
ありしよしのふたねとなりにき

志のぶぐさ(下)

愛國婦人會幹事　伏島たき子

かく悲しき月日をすごすうちに、春もくれ夏もすぎ、さらぬだに、ものゝあはれをおぼゆる秋はめぐり來つ。ひと日ふつかづゝ、家の事とりてはまたさぶらひ夜ときをするを常としたりしも、きのふよりは、けふといよ〳〵みけしきあしくなりまさり今は、はやたのみすくなげに見えける折なりき。來ん春にならばわが新室全くなりをへぬべければ、その折をまち亡き祖母君の七廻の法事いとなまんほどに、それまでには必おこたりたまひねならば養孫たちと、うちつれてとはせたまへかしとなぐさめ參らせしに、やみおとろへたる御顔にも、いとたのしげなる笑をうかべ「あゝ」とうなづかれしものを今はあの世に、その祖父君と何事を語らひおはすらん。うせたまひし十日ばかり以前より、殆んど人事をもわきまへず、たゞうと〳〵まどろみませるやうなりしも、なほ折々に己をば召したまひてき。あなかなし。あなかなし。み心のうちこそかなしけれ。その後己やみがたき家事のありて心ならずも、四日程さぶらはてありける。ある夕の方たゞならねしらせあり虫の息ばかりになりて眠りませる御枕べによりそひ、やせほそりたる御手をとり、あふれいづる涙ながらに「おばあ樣」とよび參らすれば、やがてしづかに御目をひらき、しばし己をみまもりて後、御手とりたるわが手を握りしめたまひしを最後として、又すやすやとなりませるまゝ、その夜の八時頃にやありつらん。つひにふたゝび、さめざる永き〳〵ねむりに入りたまひしは。あはれかくて君が亡骸は長しなへに、はふりをへつれど、そのふかゝりし慈みのかずかずはまた、とこしなへにぞわすられざる。

●キセロール化粧品　今度丸善の手を以て佛國より輸入されたる化粧品、キセロール各種に就て、某伯爵夫人の實驗談左の如し。

某伯爵夫人談

私は餘り日本の化粧品を好みません。現に用ゐて居るのは佛國キセロール會社の化粧品です、之は昨年でしたか、松井式部官の夫人から伺つて、始めて佛國巴里大學のペローと云ふ醫學博士が發明されたといふ事を聞いたので、兎も角取寄せて見ました。實は今までどうも衞生に叶つた品は私の實驗した中には皆無と云つて宜しい位で中には甘汞とやら申す毒藥さへ混入ッてる者があるさうです。それが只今使ッて居りますキセロル會社から出る二十餘種の化粧品はドレも皆衞生的のもので、このキセロルと申すは稀釀て出る植物性の殺菌香料とやら、成程此會社の化粧品はどれにも一種の甘い香がありますが、これが其キセロルと申す殺菌劑なんださうです。ですから此キセロルの殺菌劑を用ひますと動いてる齒も段々固つて來るって老女などが喜んでますし、又齒香水といふのを使ますと齒が白づと白くなつて齒の根が締つて參ります。齒香水の使方ですか、之をコップ一杯の水に四五滴たらして嗽するのですよ。石鹸は白と青と二種ありまして青の方の香は人嫌によつて厭がる方もあるやうですが白の方は實にホンノリとした氣高い香がしまして或侯爵の夫人なども私が御勸め申した以來これより外に使はれないと仰やってです。

一森式座椅子

特許第九〇一〇號

一箇にして甲乙丙丁の四種に變化す

定價

一更紗蒲團付　金六圓五十錢
特製　金七圓
一メリンス友禪又は繻子更紗蒲團付　金七圓五十錢
特製　金八圓

(荷造發送運賃共實費)
●右の内上等品は御好みに應ず

製造發賣元　樂民堂
東京芝區下高輪廿一番地
(東禪寺電車停留場前)
(電話新橋二〇六五番)

特約店　東京 大阪 三越呉服店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◉故奧村刀自の石膏像　別項記載の如く本郷區千駄木町服部玉香女史は評議員山脇房子氏の紹介にて、故人の一週忌に相當せる去七日、約三尺許の刀自が石膏彫刻像を寄贈せられたるが、該像は刀自が會務擴張の爲諸國遍歷の際の扮裝せる草鞋穿きに珠數を持ちたる姿なり。

◉慈善演藝會　日本基督敎青年會同盟陸海軍部にては、本日廿五六兩日午後五時より青年會館にて慈善演藝會を開き其收入は擧げて兵士歡迎に用ゐんとす。

醫院案內

○院長ドクトル 木村順吉
京橋丗間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)
婦人科產科 木村病院

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 內田愼太郎
●電話下谷七一八番

美術的新書發賣

女子職業學校敎授 女子大學敎師 金子支江、三好幸、石川壽美共著

家庭造花術全書

本書は著者が多年の實驗と敎授上とに鑑み獨習者の用に充てん爲め和洋の花卉七十五種を四季に別ち懇切平易の說明の下に精緻なる美術石版着色挿畫を以て瓣、莟、葉、萼、蕾等の各切圖と實物に依り寫生したる全形を示し此れと相對照して製作すれば師無きも容易くこの術を會得するに努めたり單に獨習用に止らず技藝科敎員及び各女學校生徒諸媛の良參考書となり又家庭に備へ置かば美術的趣味を得るの珍書なり

美麗石版着色畫十葉●八木版書十四葉●挿入

和裝全二冊 上卷正價金八拾五錢 郵稅金八錢 下卷正價金八拾錢 郵稅金八錢

東京 大倉書店發行 日本橋

皮膚の營養上衞生美顏 容貌の美のために特に薦撰する良劑「シモン、グリスリン、クリーム」

Crème Simon

登錄商標

「シモン、グリスリン、クリーム」は近頃の製造品ではありません久しき以前より御使用と御評判を受けて居るのであります

「シモン、クリーム」は一種の强壯劑と皮膚を柔かくする藥劑とを配合して製造したる衞生上無比の良品であります

「シモン、クリーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ／＼となり又天鵞絨の如く艷麗ならしめ又快よき香氣を發します毎日御化粧の時に御使用になれば何時でもつやつやしき容貌を保たれます

「シモン、クリーム」はヒヤ、アレ、日にヤケ、汗も、ニキビ、唇のわれ、霜やけ、赤ら顏、又は毒虫に刺された時にお塗りになれば僅かに少時間で其効能が分ります又髯剃の後や小供衆に塗抹しますとすべ／＼として大變氣持がよく、又美しくもなります

本品は販路が益々擴張さるゝに從ひて僞物が多く市場に出て居りますから御求の際は「シモン、クリーム」「粉おしろい」石鹼共特に登錄商標を御確めの上御購求願ます東京及大阪の三越吳服店を始め各地の洋品店化粧品店に販賣致して居ります

日本代理店 橫濱七十番 エー、ハイム商會

見よ面白くて實際爲めになる少女雜誌

少女の友

二月十一日發行(毎月一回) 第壹號 一冊拾錢郵稅壹錢 六冊郵稅共六拾錢 十二冊壹圓拾六錢

◎少女に善き習慣をつけ又惡い習慣を直すは雜誌の力です
◎日本には此偉大なる感化力のある少女雜誌は是迄ありません
◎本誌は大研究の末娛樂と智識を調和せしめ此偉力を以て生れました

口繪 △閑院宮少女王殿下 △伏見若宮少女王殿下 △諸名家少女(其他) △珍寫眞 彩色

◎優しき少女が友達を善人に化した話……村井弦齋(親子共必讀の大文字)

◎繪にて示せる面白ろき繪物語 ◎新意匠のお伽噺 ◎鶯の啼き聲のお稽古 ◎花の匂ひ……三宅博士 ◎子煩惱の動物

◎少女の最新遊戲 ◎姉さんの面白き百物語 ◎毛絲編方(皿敷編方) ◎若松城中の烈婦(史談) ◎懸賞繪探(珍奇) ◎讀者の和歌及投書募集

▲大景品附繪葉書……(景品千七百點)
(景品)△銀時計△置時計△帶側△絹張洋傘△紫の袴△駒下駄△手風琴△人形△はこせこ△花簪等

家庭敎育 繪ばなし

大々好評 二月五日發行 ◎五卷第貳號 一冊六錢郵稅五厘 六冊郵稅共卅八錢 一年七拾貳錢

繪草紙 幼兒に見せる玩具と敎育を兼ぬたる日本一の繪草紙
△いたづらポンチ △汽車かるた △幼兒遊戲の種々 △珍奇繪探がし

東京京橋南紺屋町十二 電話新橋八四七 實業之日本社 郵便振替貯金口座參貳六番 各地賣捌書店

本品は畏れ多くも 常宮殿下 周宮殿下 富美宮殿下 泰宮殿下 御使用品

高等香油 チエリーオイル 紳士貴婦人令孃用

千九百七年式巴里流行 乳狀薄化粧料 フエスクリーム

珍ら敷新輸入品

最も日本婦人に適し皮膚の營養滑澤に實効ある

佛蘭西新式煉白粉代用品

本品は顏を洗ひ乾きたる後少量を萬遍なくぬり摩擦すれば實に得も云へぬなめらかによきつやを出し香氣よくあれを防ぎ白粉やけ皺のよる憂なし又ゑりの汚れることなき嶄新良好なる薄化粧料として紳士貴婦人間に高評あり

定價一瓶三十五錢全國到る所の賣藥小間物化粧品店にあり

東京市日本橋區本町二丁目 チエリーオイル本舗

發賣元 高橋初次郎 振替貯金口座一〇九三二番 電話長本局四一一三番

最上醬油(チカサ) 品質ハ少シモ異リナシ 印ト

發賣元 日本橋區小網町三丁目廿七番地 濱口吉右衞門

釀造元 千葉縣銚子町 濱口吉兵衞

宮內省御用達 最上醬油之元祖 開業貳百六拾四年

釀造元 下總銚子町 濱口合名會社 振替貯金口座五〇貳壹番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京池之端仲町貳拾七號所有地
寶丹本舖　守田治兵衛謹告

日本體育會より御信書の附言

御專賣の寶丹は殺菌力強く且つ細胞の活動を喚起するの効あるを以て肺病の豫防にも適劑なることを確め候間乍序申添候云々

故に寶丹は軍隊・學校・集會・宴席・寄席等は勿論家庭衛生の常備藥として欠べからざる良劑なり

創立紀念　二萬千八百餘圓の大景品

一番當り金四千圓　一本も外れ無し○總數七千二百口

大高評の福引付本社商品切手陸續御下命願上候

今般本社で催しまする第一回美術工藝競技會は、本社の顧問又は技術委員たる諸大家の手に成り、又は其監督の下に製作したる意匠斬新製作巧妙なる

ダイヤモンド及び各種寶石入指環類
金銀四分一彫刻卷煙草入及置卷賞箱
銀製彫刻並七寶鑄銅陶器花瓶各種
金銀彫刻側懷中時計及鎖其他附屬品
ダイヤモンド及各種寶石入ブローチ
ダイヤモンド及各種寶石入帶留櫛笄
珊瑚翡翠其他玉附及平打彫刻金製簪
彫刻附金盃銀盃洋盃及銀製茶器一式
銀製彫刻文具化粧用品象牙置物各種
煙草入緒〆小金物及金銀製彫刻煙管
金製根掛羽織紐洋服手釦ピン類各種
蒔繪櫛笄紙入煙草入小町袋千代田袋

右諸品を本社又は

日本橋通一丁目　白木屋呉服店
神田區鍛冶町　松屋呉服店
下谷區上野廣小路　松坂屋呉服店
下谷區池の端仲町　玉寶堂

其他の商店又は各取次所に就て普通賣價に比すれば確かに廉價なる正札附にて本社の製品

上貳百圓迄金五圓以

上の御買上げ又は新規御注文の節福引券差上げますが此福引券は三月三十一日を以て府下各新聞通信社員及各特約店員の立會を乞ひ勸業債券抽籤器を以て嚴正公平なる抽籤を行ひ左の景品を差上げます

四千圓　金製七福神置物　一本

二千圓	十八金製ダイヤモンド指輪	一本
一千圓	十八金製ダイヤモンド指輪	一本
六百圓	ダイヤモンド金製指輪	一本
五百圓	銀製彫刻花瓶一對	一本

金四百圓	三本	金二百圓	七本
金百五十圓	一八本	金百圓	十二本
金五十圓	十五本	金三十圓	十二本
金二十圓	廿五本	金十圓	百十七本
金五圓	五百五十本	金四圓五十錢	八十本
金三圓	百四十本	二圓五十錢	三百廿五本
一圓八十錢	五十本	一圓五十錢	百本
一圓	六百本	九十錢	三百本
六十五錢	二百本	六十錢	五百本
五十錢	八百五十本	四十錢	五百本
三十錢	千二百本	十五錢	千七百本

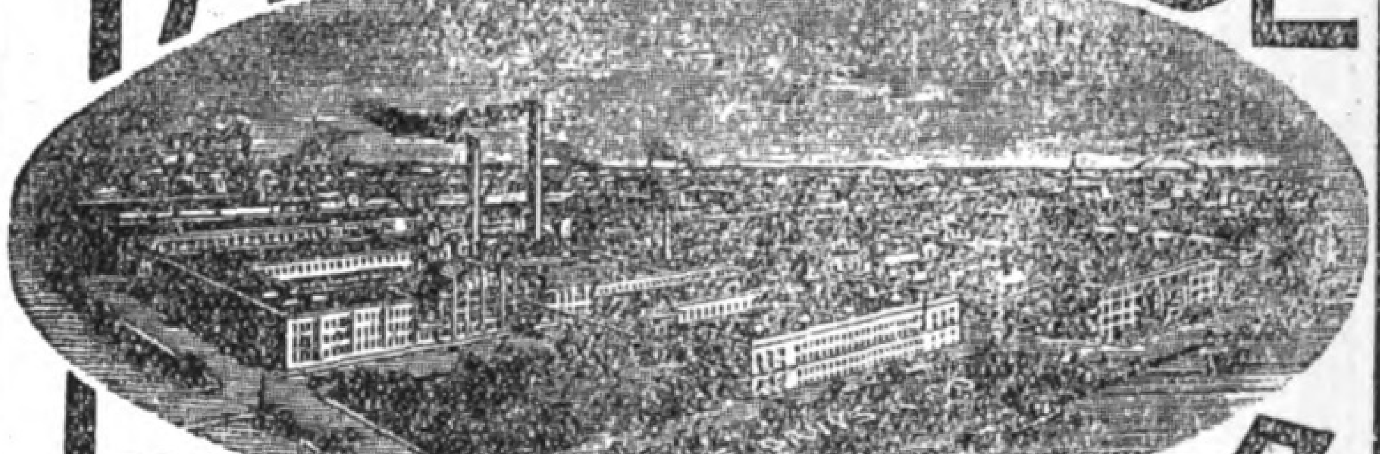
委細は規約書に掲げあり「はがき」にて御申込次第進呈可仕候(本社商品取次販賣希望者は御申込被下度候)

一月十九日より三月卅一日迄

東京市京橋區銀座二丁目一番地
大日本美術工藝品株式會社販賣部
電話特長新橋四六七七(振替口座一二一二八九番)

創立紀念二萬千八百餘圓の大景品

TAKA-DIASTASE



タカヂアスターゼ

世界最大の製藥工場

バークデビス社は完全なる設備を有する世界最大の製藥會社にして、上圖は其デトロイトに於ける本社工場の全景なり。此他同社は加奈陀及英國に同一規模の分工場を有し、世界の醫家が要求せらるゝ總ての醫藥品を製造す。

高峯氏發見消化新劑

タカヂアスターゼはバークデビス社の製品なり。

完備せる裝置の下に熟練なる技術者に依り、製出せらるゝ本劑は品質純良、毎瓶強度均一にして、又其効力永久不變なり。

醫師及藥舖諸彥！模造品製造者の誇大なる虛僞的廣告に誤らる勿れ、世上本劑以上の實品なきは歐米及吾多數醫學大家の實驗報告に徵し確認せらるべし、需用者は必らず高峯氏タカヂアスターゼと指定せられよ、本劑は粉末錠劑水劑の三種として發賣せり各地藥舖にて販賣す

代理店　東京南茅場町　三共藥品合資會社

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地(電話浪花六九七番)
診察時間　自午前九時至正十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長　ドクトル岩佐新
(獨逸留學中)　副院長　醫學士　高田壽
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

產科婦人科專門　診察每日午前　入院隨時
淺草區左衛門河岸　電話下谷一〇二八
岩田病院

婦人病專門
芝明舟町十九虎門外宮樣前　電話新橋三三二四
院長　櫻井克己
櫻井醫院

神田區西今川町三番地(電話本局三〇一九)
內科病特に腦脊髓神經疾患
院長　ドクトルメヂチーネ　峰秀世
峰內科醫院

齒科治療　ドクトル齋藤清太郎
麴町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

院長　醫學士　鳥山南壽次郎
午前診察　午後往診
京橋區鎗屋町十一番地　電話新橋千七百四十六番
鳥山內科院

午前宅診午後往診　入院隨時
淺草區下平右衛門町十七番地　柳橋通り(電下一三六五)
內山小兒科醫院

●午前　自宅　神田多町壹ノ八
●午後　岩佐病院　日本橋區蠣殼町
腦病脊髓病
神經衰弱、ヒステリー、中風癲癇
神經痛運動障害等
醫學博士　土田卯三郎

東京神田美土代町三丁目十九番地
內科一般　午前宅診　午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七十番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜舍
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

洗用 ワツセル

◎此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◎用法は湯一升に二勺(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは(拾貳匁入)一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一勺五分を一升餘の湯に溶して解してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子て洗た樣になります又食器臺所道具の拭き掃除にも有効です

定價 拾貳匁入 金拾五錢 袋入二錢
六匁入 金八錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
三友商會

姿事薄毛にて種々藥を試しも効なく醫學博士令夫人より奇藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……
東京々橋越前堀一ノ四 河村愛子

女學雜誌 なでしこ

本誌は記事穩健確實にして實益に富めると婦人雜誌中一頭地を拔くものなりと夙に世の定評あり
毎月十五日發行壹部郵税共拾五錢
本會は明治卅六年以來今年迄 宮中歌御會始に預選の光榮を蒙りし會員六名に及びたり今般其祝意を表せん爲本誌讀者に對し着實なる方法にて大福引を擧行しなでしこ壹萬部毎に其價格壹千圓餘の女子必讀の書籍を贈呈すべき福引の籤を挿入す其贈呈書籍目錄左の如し
○婦人寶典(特價貳圓六拾錢)十部○婦人の修養(定價壹圓貳拾錢)五十部○大和撫子(同五拾錢)三百部○料理百珍(同參拾錢)壹千部○新撰家政百個條(同拾貳錢)四千部以上合計五千三百六十個價格千〇拾六圓●二月十五日發行のなでしこは右福引の籤を挿入せり●購讀希望者は本會へ直接に申込みあれ郵便切手代用は壹割增しを要す

催主 みやび會
申込所 東京青山原宿 大日本女學會 電話新橋一八三〇 振替一一八三六

耳鼻咽喉病診察
淺草向柳原町一丁目二番地左衛門橋通り
中村醫院

肋膜炎、腎臟炎、
菅能内科醫院
體格檢査(官公私立學校及檢定受驗者)
神田錦町正則英語學校前 (電本二二五六)

平素不在勝ちに有之候間御用の御方は夜分の外左記へ御來訪被下度候
麴町九段坂下愛國婦人會
永持德一

大景品附特賣

大阪朝日新聞 綠園生著 精巧なる口繪數葉
大石内藏助
菊判一册紙數八百頁
一萬部特賣(上製)一圓六十錢(並)一圓卅錢△送料金十二錢
△景品▽一等貯蓄債券(二十個)二等書籍券十圓(三十個)△三等書籍券五圓(五十個)△四等より六等まで景品其他美麗なる繪葉書一組
發兌元 京橋區南鍋町 隆文館

ライオン齒磨

ライオン齒磨の品質優等なる齒磨に口中を清め齒牙を建全にし且つ雪白ならしむ香味の清涼にして心身を爽快ならしむるが故に日常之を用は建康を助けて家庭の幸福を得べし

農學博士法學博士 新渡戸稻造先生新著 竹尾國觀畫伯挿畫
歸雁の蘆
四版發賣
大好評近來の呼び物文章平易談話體にして唯ても讀める有益なる家庭には必備の讀物
口繪石版極採色 挿畫五色摺アート 寫眞版大判十葉 挿船來上等紙 三百餘頁表紙美的 無類の珍本 正價金壹圓郵税八錢
發兌 東京神田猿樂町貳 弘道館

諸刺繡 季節草花 半ゑり帯揚類
絞り模樣 友染繡入○總絞り
○ショール○襟飾ネクタイ○男女方襟卷
○帛紗○長襦袢○襦袢袖○伊達卷○前掛
新橋竹川町十二番地 電新二〇二七番 振替貯金口座第四四〇一番 本店 ゑり治
神田表神保町一番地 電話本局九五二 支店 ゑり治
新橋際博品館内階下 ゑり治出張店

明治四十一年二月二十日發行(毎月五日廿日二回)(定價金三錢一ヶ月六錢郵税不要)(廣告料一行金六拾錢)
發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 永持德一
發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所
發賣所 同 京橋區南鍋町 株式會社隆文館
印刷所 東京牛込區市ヶ谷加賀町 秀英舍工場

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

本部記事

◉評議員會日取　本月廿六日（第四水曜日）午後二時に開催す。

◉參事會開催　本月五日午後二時より開催、出席者左の如し。

松平須磨子　中山幸子　山脇房子　高木鎌子　關郁子　仁杉歌子

◉葬儀會葬　本月一日午後一時一條理事の祖母堂順子殿の葬儀執行に付、芝青松寺へ會葬せる職員左の如し。

板垣絹子、尾崎八重子、松平須磨子、關郁子、丹羽花子、新山雅樂子、堀光子、中山幸子、山脇房子、古市幸子、鄕はま子、東京支部幹事廿四名佐藤會計監督以下本部支部事務員等。

◉故奥村刀自法會　本月七日淺草本願寺に於て、一周忌法要を營む、導師大僧都大草惠實氏、參勤文學博士南條文雄氏外二十餘名の僧侶讀經ありて頗る莊重を極めたり。當日參詣者の主なる氏名左の如し。

岩倉會長、近衞理事代、島津理事代、谷理事、井伊代戸田極子代阿部篤子代鍋島易子代濱尾代千家代松崎代戸田時子、松平須磨子、關、岩佐、原、渡邊、高木鎌子、中山、山脇、鄕、菊池咸子、仁杉等の各評議員、谷子爵、堀内大佐の兩顧問及島津顧問代佐藤會計監督、東京支部幹事廿五名其他普通參拜者百五六十名。

◉石膏像の寄贈　玉香服部薰子氏は、故奥村刀自一周忌法會の當日、刀自の石膏彫刻像を本會に寄附せられしに付、本月十三日謝狀を贈る、

◉慈善興行　浪花節界の名人吉田奈良丸一座は本月十一日より三日間、新富座に於て、本會へ寄附の目的を以て、慈善興行を催したり。

支部記事

▲四谷區幹事部　豫告の如く本月一日より五日間喜よし亭にて、慈善演藝會を開催せり。

▽各支部に於ける故奥村刀自法會狀況▽

◉廣島支部　七日午後一時三十分廣島市猫屋町眞宗明敎寺に於て、追弔會を執行す。來會々員約三百名、導師は西寺町善正寺老隱中山龍鳳師を始め、市内十ヶ寺住職の讀經あり、頗る壯嚴に行はれ午後三時半散會せり。當日廣島支部顧問並に宗像同支部長の追弔は左の如し。

爰に愛國婦人會主唱者喩信院釋尼良道故正七位奥村五百子女史の小祥忌に當り恭しく追薦の詞を叙ふ。惟ふに我國博愛慈善の大義を内外に發揮せるもの日本赤十字社あり又本會あり以て雙美と稱す而して彼は丈夫の經營になり是は巾幗の計畫に生ず、難易豈し同日の比にあらず而も女史剛正の資至信の行を以て斯道の發揮に任じ終に其難きを遂ぐ眞に道に信あるものと謂つべく眞人の徳あるにあらざれば焉ぞ能く此の如くならんや女史今や亡く痛恨限りなしと雖も會勢は歸々として益其異光を放ち帝國内女性唯一の大團體として國家に貢獻するもの將に測られざらんとす嗚呼女史已に大効を樹て亦眞人の徳を備ふ其眞爾の續き因と言ふを須たず仍ち之が功績と徳業とを併せ叙して追薦の詞となす尊靈庶幾くは來り饗けよ

明治四十一年二月七日

愛國婦人會廣島支部顧問

從四位勳三等　宗　像　政

爰に明治四十一年二月七日本會の主唱者なる故正七位奥村五百子刀自の一周忌に方り追薦の式を行ふて刀自の冥福を祈り奉る

顧みれば刀自の本縣に遷遊せられしもの前後二回諄々として奉公の大義を說きて能く姿婦を啓發せしめらる爾來姿婦向背を一にして三十七八年戰役の際の如き後援の務に從ひ以て婦道を全うし長くも　皇后陛下の命旨を辱うするを得たるもの實に刀自の賜なり刀自の逝かれしより星霜俠く一歳となりぬ此間會運は日々に隆盛の域に進み本會の總員七十餘萬人本縣亦同志三萬有餘名を算するに至りたり刀自の在して親しく此狀況を見聞かれ給ひて如何許りか喜ばれしならんに今や杳かにして其音容を仰ぐこと能はず是れ國と人事の常なりと雖も當時を追懷して之を思ひ彼を念はゞいとゞ無限の哀に禁へず然れども刀自の遺業は益々その根底を堅めつゝ刀自の高名と其榮業を讃ひて千古鑑るの期なけん尊靈幸ひに安かれかし仍て同志相會し此に蘋蘩の奠を供へて追薦の哀を表はし敬みて尊靈に告す希くは尊靈照鑒を垂れ賜はんことを嗚呼哀しい哉

明治四十一年二月七日

愛國婦人會廣島支部長宗像直子

●兵庫支部　二月七日午後一時三十分より故奥村刀自の爲め、追善法會を神戸市奥平野村祥福寺に開けり、當日參拜者の重なるものは服部兵庫縣知事、吉原不破務官藤井港務部長、水野神戸聯隊區司令官同福井副官小山憲兵大尉水上神戸市長等の外に同市藤の寺住職望月有成、極樂寺住職太田密道善照寺住職佐々木祐誓、眞宗高田派專修寺神戸出張所主佐々木祐孝氏等各僧侶及當支部評議員幹事贊事職會員等百五十餘名なりとす、尙ほ導師祥福寺住職五葉愚溪和尙は左の偈を提唱せり。

爲喩信院括香拙偈

信是道源功德母。忠君愛國亦唯斯。

若人欲識眞端的。八萬軍兵法戰時。

別々

缽裏飯今桶裏水。一飽能消萬劫飢

右成風

愚溪九拜

而して眞宗禪宗の各僧數十名讀經中、刀自の親戚帆足いし子を初めとして、順次燒香をなし、午後三時三十分全く式を了へたり、當日本部遊說員富樫眞喜子女史は刀自生前の經歷及本會の主旨を講話すると約一時間にして、記念繪葉書並に菓子を各參拜者に配與し、其全く散會せしは、午後四時三十分なりき。

◉京都支部　京都支部にては同會首唱者たりし故奥村五百子刀自の一周年法要を五日午後一時過より圓山公園内双林寺境内廣場に執行せり參列者は來賓大森知事外二十餘名、市内在住の癈兵及び軍人遺族其他會員三百餘名にして式場正面に祭壇を設け其傍なる碑石上に故刀自の肖像を安置し其前には支部職員會員有志者弁に篤志看護婦人會京都支會より寄贈せる供物を列べたり一同式場に列するや大谷派本願寺連枝大谷瑩琇師導師となり十數名の僧侶慇懃に讀經し次に支部長大森齡子左の祭詞を朗讀し式を終り菊溪山莊なる休憩所に於て來賓に茶菓を饗し癈兵、遺族へは供物及び餅を配與し二時過無事終了せり

祭詞

愛國婦人會京都支部長大森鍾子一ひらのかなりをそなへ恭しく故奥村五百子刀自の靈に告あはれ刀自は明治卅三年の北清戰爭の時にあたり女の身ながらはる〱彼の地に渡り我國軍隊の困難の樣と清國が外國の爲めに甚しき害を蒙りし樣とを實見せられ女子とても同じ國恩に浴しながら之に報ゆるの惑もなく愛に見過す事は如何にもすまぬといふ一すじの赤心より我愛國婦人會を主唱せられし事は感謝に堪へざる所なり山間僻野のきらひなく吹く露はげしき冬の日もふむ足やくる夏の日もいとひなく所々をめぐりて本會の主旨を懇に話し日露戰役の際刀自また病の身ながら遠き滿洲の野に本會よりの慰問使として我軍隊を慰め又戰死者を一々弔れし心情とはいとも感謝に堪へざる所なり本會の事業いよ〱之より重きに至らむとて益々はげみたまひしも宿痾療養の爲め當地大學病院に入院中去年の二月けふはかなく身まかり給ひしことを思ひ出され昨日の如くありし〱と幻に見ゆるこそかなしき事の極みなれされど現今我が會員は七十二萬餘の多きに及びやがて日萬にも至らんとし遺族癈兵に對するの道も日に月に進むの樣に至り實に我國女子をして國恩の重大なる事を益々知らしむるに至り刀自の身は矢せたまひしも其志のあり〱と益々榮ゆるを見て愈々追慕の情に堪へざるにぞ發起人一同にかはりて祭詞を述ぶ靈希くはうけたまへや

◉岐阜支部　大垣別院に於て愛國婦人會安八郡幹事部主催となり故奥村女史の一周忌法要を營みたり。

▲京都支部遊說記▼

京都支部内　富樫眞喜子

第二回報告

一月二十日　午十二時四分七條發列車にて入田參與望月幹事室谷事務員同行宇治郡醍醐村に至れり會場なる小學校には丸野顧問黒坂委員醍醐校長左右田郡視學等待受けらる暫時休憩の上小學校を參觀して休憩室に歸れば山田榎山宇野幹事來場し居られたり、二時を報ずるや開會の合圖あり當日は郡會召集の期として全郡員は一同列席其他一般聽者約百名黒坂委員開會の辭を述べられ次に例により講話せり後に丸野顧問勤誘的演說をなし五時閉會せり夫より仝役員の案内にて醍醐（三寶院）に參拜し豐公の遺物其他種々の紀念品を一覽し再び休憩室に歸り各職員と晩餐を共にし午後六時三十八分發の列車にて歸京せり。

一月二十一日　當日は休會なるを以て市内の遺族癈兵を慰問せり先づ下京區下珠數屋町西玉木町に住する癈兵山中正太郎氏を訪問せり仝氏は奉天附近に於て負傷したるものにして身に十ヶ所の傷を負ひ頭部の負傷の爲め神經痲痺したる如くなり手足不隨となりたるものにして本會より一時救護金九十圓を基本としてさゝやかなる文具店を開きて生活の資につきしが、爾來同情者の多くは此店にて購求するに至りしかば日に月に盛大になり且つ京都支部にて製作の帽子を委託販賣し昨年妻を迎へ商業に從事せしむることゝしなりたれば次第に好運に向ひ、頃日は奇麗なる商店をなすに至りたり。私が慰問したる時も本會の親切なることを繰返し〱述べ厚く禮を云ひ居れり。然共身は此如き不自由なれば毎月動物園を一回觀覽するを無上の樂しみとなし居るもそれすら人々の世話になるを氣の毒に思ひ漸次回數を減ずるやうにするとの事にて朝より夜寢に就く迄店に腰掛け或は學校生徒を相手に或は新聞雜誌を讀きて日を送るとのことなり。曾て佐藤少將閣下の京都驛を御通過の際支部員仝夫人を停車場に連れ閣下に拜謁の榮を與へたりとか此事をも數次述べて非常に感涙に咽び居れり。實に察するに餘りあり、私も慈善的購求をなし能く慰籍して此の家を辭せり。次は大和大路大佛南門下なる下池田町に住する故輜重輸卒植松榮次郎の遺族とめ子を慰問せり仝家は至て貧困にして七十餘歳の病人と七歳の孾兒とあり年額三十圓の扶助料にては迚ても生計を營むこと不能本會より六圓の救護金を與へられ一時は子供を連れて支部へ帽子製造に來るも昨年八月より父病床に就きしかば如何ともすること能はず、依て家に在りて看護の傍頃日はカルタの裏打をなし僅一日八錢程の工賃を取り漸く糊口の資に供し居れり、住家も九尺二間の極汚かれたる病父も寢き夜具に臭を纏居れり依て金一圓二十錢を與へ來れり。次は下京區一貫町通丹波口下ル丹波街道町故砲兵助卒岡九一郎の遺族を慰問せり仝家には小ながらも茶店を開き居り、父平助は僅三十圓の扶助料にては中々困難なるを以て本會より三圓の救護金を與へ居れり仝家へは金一圓を惠與せり。次は下京區耳塚通鍛冶町故輜重輸卒吉田伊之助の遺族スヱを訪問せり此家も極困難者なるより本會より六圓救護を受け居れり仝金一圓惠與せり。

一月二十二日　當日支部都合上休會なるを以て又もや癈兵を慰問す最初には下京區西新屋敷上町字島原十八番戸に住する癈兵五島喜多郎を訪問せり仝人は盤龍山に於て負傷し左大腿付根より切斷せしものにして義足も飲むると能はず頃日は壬屋町通り御前西入平山愛之助（貿易用縮緬工店）方にて縮緬工に從事なし自分の食料は辛ふじて得妻子は恩給にて漸く糊口を凌ぎ得るなり。京都支部にても目下救護の道を講じつゝあるよしなり金一圓を惠與せり其翌日禮狀を送り越せり。次は上京區烏丸姉小路上る虎屋町に住する岩村岩次郎を慰問せり仝人は清國盛京省柳樹屯に於て病に罹り漸々歸結核となり兵役免除せられたるものにして家に老母と子供二人あり妻は死亡なしたるを以て病人の看護家事萬端此老母の手一ッによりて處理するなり、恩給も下賜されず一時金七十圓を賜しのみなれば實に今日糊口の苦しきこと言語に絶する斗りにして岩次郎は蒼白なる顏色にて疲勞し只病床に呻吟するのみ、實に慘然たる有樣なり。金一圓を惠與し能慰籍して此家を辭したり。後に老母支部へ來り私を訪ひ厚く禮を述べ去れり。次は上京區中立賣通智惠光院西入に住む犬飼七左衞門氏を慰問せり。仝人は二龍山に於て負傷して左大腿三分の一切斷なしたるものにして義足を穿め歩行せり、家族多き爲め糊口に窮し居れるも家にて來を猫に勞す業をなし得る故少しく困難を感ずるなり妹は京都支部授産場へ通ひ帽子製造に從事したるも頃日は親類の許へ行き居るよしなり。仝家へも金一圓惠與せり。

一月二十三日　午前八時半出發入田顧子代管各事務員同行桑郡周山村へ赴きたり。同郡は京都府の西北隅に位し山又山を越へて行くべき邊陬の地なれば故奥村刀自も支部職員も一度も遊說したることなかりき。先つ我等は京都市の郊端今宮神社前にて腕車を下り、是より徒歩して第一の坂路鷹峰を越へ、杉坂小野鄕を經て小野村に至り第二の坂路笠峠六道峠等を越へて周山に着たるは午後五時半なりき。當日は中にも雨雪なく天氣快晴となり道路は或は泥濘路を渉するもあり、或は礫石の散落するもあり、處々險惡なれども前途の有望にして愉快なることを思へば足輕く寒さを忘れて豫定よりも早く到着なしたり。岸田顧問仝幹事部長草木事務員等の出迎を受け、村山旅館に投じたり。

（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部記事　一面より續く

△韓國本部近況▽

◉**鎭南浦委員部**　は設置以來同地に於ける婦人慈善會より入會するもの日に多く今に至りては同會員にして本會員に非ざるもの殆んど之れなしと云ふも可なるが如き狀況に立至れり因て今回同會と協議の末合同する事に決せり仍從來該慈善會に於ける財產の全部は現在の儘之を委員部に引受け該地方の慈善事業に盡すべき費用に充る事とせり。◉又同韓國本部にては去る二十八日午後二時鶴原總務長官々邸に於て本年第一回協議部會を開會したるが小宮、香坂、長濱、石川、津輕、三宅、香取（令孃）荻田、渡家、佐々木、巨智部、頭本、村上、國分、黒田、本多、潮澤、朴洲瑚、海津、熊古、小村、木島、久保田、小崎、垣見、遠藤、武田等の各夫人岡崎旅團長、能勢博士、村上軍醫正、副官、佐々木、村上兩醫學士等出席大橋主事より開會の挨拶に最近各地委員部の會務報告をなしたる後岡崎旅團長は夫人諸氏の請により暴徒討伐に關する談話を試みたるが韓國暴徒の起因蔓延の景況討伐の狀況暴徒の現況我軍隊の士氣及衛生情態等に就き詳細有益なる實驗談あり終て佐々木講師の生理上に關する講話ありて散會したるは午後五時過なりき

◉**兵庫支部**　二月八日午後二時より市內神港俱樂部に於て、高橋眞寶子女史の講話會を開催せしに、各女學校等の生徒を初めとして、會せるもの無慮八百餘名の多きに達し、滿場立錐の地をも餘さゞるほどの盛會なりし。當日講話の要領は、本會の今日あるは奥村刀自の身を忘れ國に盡したる至誠の致す所なりとし、尚ほ戰死者又は癈兵等に就ての例を擧げ、本會の主旨を縷陳し、苟も帝國婦人たるものは、入會の義務あることを勸告せしに、滿場大に感動し、聽衆は時に歔欷の聲を漏らすに至れり、而して其の全く講話を了つて散會せしは、午後四時なりき。

◉**和歌山支部**　有田郡幹事部に於ては去る一月十七日同郡湯淺町に於て第一回幹事部總會を開き伊澤顧問臨場祝詞を述べ來會々員には夫々紀念品を交付したり又日高郡幹事部にては來三月二十八日同郡第一回總會を開催する筈にて目下會員增募に盡力中既に當聯以來三百餘名の新加盟者を得たりと、尚和歌山市幹事部に於ても奉賜の紀念を期して幹事部總會開催の豫定なりと云ふ。

◉**群馬支部**　勢多郡幹事部黒保根村愛國婦人會々員に於ては會務の整理會員の親睦を厚からしめん爲に左記の如き申合規約を設定せりと、

一、各大字大小により組合を設け各組合に組長一名を置き幹事を補佐し、組合內の會務を整理し會費の蒐收に任し兼て會員の增募勸誘を爲す

一、組長は組合會員の互選により任期を二ヶ年とす、但し再選を妨げず

一、成るべく父兄の力に依らず各自の勤儉により會費を據出する事

一、會員共同耕耘茶園を仕立收益を以て會費に充つる事

一、廢物を利用し之を蓄積し置き會費に充つる事

一、化粧品の共同購入を爲し之が收益を以て會費に充つる事

高知縣土佐郡一宮村久禮野　山本夏嘉

不肖儀て嘗て愛國婦人會長公爵夫人の机邊に寄す尊き御身には日夜仁慈悲惠の御事に御心を勞はせられ貴會の御爲に孜々御鞅掌遊ばさるゝ事と畏んで遙に奉推想候偖者凡夫直吉事義に日露の大役に於て戰役の處死は素より期する處敢て怪歎するには非ずとも何の微功も爲し得ざりしは誠に遺憾とする處なり然る者にも拘はらず其筋よりは扶助や賜金の恩典に接し爲に困難なる家政を和げ幼兒や老母を撫養中愛に貴會よりは仁慈悲惠の御主旨に據らせられ多額の金員を御贈與以て御慰藉を忝ふせらるゝ事既に數回を重ぬ其難有御厚志に浴する度每に家族一同喜悅感謝措かざる處再拜頓首して受納仕候然るに未だ一回だも御報恩の謝辭を捧げ不申缺禮の罪免れ難く伏して御許容あらんことを聊不文を以て御厚志に答へ奉らんとす幸に御笑覽遊ばされ度匆々如斯御座候恐惶頓首

右

明治四十一年一月廿四日　山本夏嘉拜

愛國婦人會長公爵夫人岩倉久子殿

◉**京都支部**　にては來る四月十一、十二の兩日岡崎町博覽會場に於て第三回福引會を開催する筈にて既に大森支部長より準備の爲委員長に中澤補猪子以下各委員二十五名を指名せり▲同支部第七回總會は來る四月十九日頃平安神宮社內に開催する筈なるが當日は例年の如く癈兵及軍人遺族を招待し慰藉の饗宴をなす由▲本部派遣の遊說員高橋眞寶子は過般來府下各郡幹事部の招聘に應じ巡回講話をなし居れるが到る處好況を呈しつゝあり殊に北桑田郡周山村慈眼寺に於ける講話會の如きは頗る盛會を極め四萬餘の聽衆大に感動し即時入會を申込みたる者多かりしと

◉**栃木支部**　下都賀郡幹事部にては去月廿六日午後一時より下都賀郡役所樓上に新年祝賀會を開催したり式場は階上大廣間を以て充て紅白の布を張り梅樹を挿める大花瓶を据へ準備整ふや吉屋幹事部長吉屋顧問を初め平岩、藤村、石塚、大塚、高田、大野の各幹事、池澤、富島、高安、栗田口の各篤志看護婦人會員及中山、丸井、山野、內田の各事務員等出席吉屋顧問より會況並に將來の希望を述べ其より種々餘興あり又幹事部長の考案になれる福引あり御幹事部より紀念の品多數を出席者に贈與し四時三十分散會したりといふ

◉**福島支部**　一月中に於ける入會者は左の如くなりしと

福島市二十四名、安達十一名、伊達五名、安積十九名、岩瀬二名、耶麻二名、大沼六名、相馬二名、合計七十二名

◉**北海道支部**　本月十日岩倉公爵家の火災に際し支部長河島榮子より全道愛國婦人會員を代表して不取敢御見舞狀を送りたる所二十一日付を以て左の如き御挨拶狀到着せり

拜啓陳者本月十日別邸不慮の火災にかゝり候に付ては早速御見舞被成下御厚情の段篤く奉感謝候幸ひにして家族には何等故障も無之候間乍他事御省慮被成下度候先は右御挨拶旁迄申進度如此に御座候匆々敬具

愛國婦人會長公爵夫人　岩倉　久子

北海道支部長河島榮子殿

◉**秋田支部**　中川前郡長夫人は從來愛國婦人會及大曲婦人會の爲め大に斡旋盡力せし爲め同會有志十數名廿三日午後五時鞠水舖に於て同夫人及令孃を招待して送別會を開けり歌舞茶の湯等の餘興あり散會せしは午後十時なりき

◉**岩手支部**　▲岩手郡厨川村佐藤くら御所村齋藤きよ西山村富田いし雫石村生內さん川口村佐藤きん一方井村田村あさ▲東磐井郡大原町龜掛川きく以上今回總裁殿下の允許を得て愛國婦人會岩手支部幹事を會長より囑託され各既會の通り受持つことゝなれり、岩手郡御所村高せん沼宮內町白畑すゑ西山村小林さと以上今回同會同部幹事部長の推薦に依り仝郡幹事補を笠井支部長より囑託さる▲東磐井郡大原町長龜掛川誠三郎氏は同郡幹事部大原町委員に囑託されたり▲岩手郡御所村加藤敏一方井村田村あさ川口村佐藤きん西山村小林さと▲氣仙郡矢作村稻葉みつゑ▲東磐井郡長坂村鈴木きれ岩淵はるの鈴木すゑの大原町龜ヶ川きく奥田村伊東まつよ及川あき村上ふよの伊藤みよの中澤たま佐藤みどり菊池かめ千厩町狄庄あや▲下閉伊郡田野畑村金澤かれ中崎はま山田村佐藤この濱村うた同よし自土さの以上は今回同會の主旨に賛同せられ何れも新會員として申込みたり

◉**愛媛支部**　愛媛支部に於ける會員現在數は一萬九千三百五名にして內特別會員終身八十八名、年賦四百六十四名、通常會員終身二百九十二名、年賦一萬八千四百六十一名之れを各幹事部別にすれば東宇和八百三十八名、西宇和千三百八十二名、南宇和八百五十七名、北宇和二千四十五名、喜多千三百四十九名、上浮穴三百三十九名、伊豫千四百十六名、松山千七百六十一名、溫泉三千百七十三名、周桑五百三十九名、越智二千六百六十二名、新居千八百四十七名、宇摩千百四名なり

◉**青森支部**　客臘末青森支部調査に成れる縣下の愛國婦人會員及募集標準に對する過不足數を各郡市幹事部別に記載せば左の如くなるが本年は支部第今回會員總會を開き　總裁殿下の臺臨をも仰ぐことになるべければ職員並會員は奮つて會費の出金と會員の補充に勉めざるべからざるなりと

郡市名	現會員數	豫定過	仝不足	人口百に對する會員步合
東	一、〇九六	七三	…	三、一六
西	一、〇六五	…	八	三、〇三
中	六四六	…	二一〇	二、二二
南	九八四	…	五〇二	一、九七
北	九五六	…	一五一	二、五七
上北	九二二	…	一六八	二、五〇
下北	五〇八	二五	…	三、〇三
三戸	一、八〇四	四八	…	三、〇四
弘前	一、一九二	六六六	…	六、七三
青森	一、四五六	八五七	…	七、〇七
計	一〇、六三〇	一、六六九	…	三、一六

◉**靜岡支部**　去月十三日正午より氣賀町清乗庵に於て愛國婦人會靜岡支部事務員近藤夫人出張し本會の主旨並に將來の發展上に於ける講話をなし同町會員及び一般有志者多數の出席ありたり同夫人は尚左の順次により郡下各町村に於て講話をなしたり

十四日正午十二時より西濱名村二ヶ日尋常小學校十五日中川村中川尋常小學校十六日奥山村奥山尋常高等小學校十七日井伊谷村伊井谷阿形純氏宅十八日鹿玉村宮口庚申寺に於て開會したり

愛國美談

健氣なる勇士の妻

顧れば早や四年の昔となりぬ。遼東の山河、血汐と死骸とを以て埋られむ計り、戰ひと凄じかりしかば、わか忠勇の將士爲めに夫が犧牲となりて、死するもの多く、從つて夫を亡ひ子に先立れしもの、夥多しかりしなかに、是に又あはれにも健氣なる勇士の妻こそ在れ。東京京橋區川口町三番地長妻繁子氏とて、夫は故陸軍步兵軍曹勳七等功七級長妻金藏氏と云ひ元鈴木姓を名告り、明治三十年十二月近衛步兵第二聯隊へ入營し、翌年十二月一等卒より上等兵に進み、卅三年二月伍長に任ぜられ、同年十一月善行證書を得て滿期除隊となりしが是より先清水組（清水万之助）の店員なりし故を以て、再び清水組におりし處、媒介者ありて當長妻家へ養嗣子となり、琴瑟相和して卅五年女兒を擧げ君子と稱く。然るに卅七年三月出征、同年五月金州城及南山攻擊の際、名譽の戰死を遂げられしなり。されば同區愛國婦人會幹事部にては、出征軍人遺族癈兵を慰藉の目的を以て開催せし、慈善演藝會の純益金より、勸業債券五圓を贈與せしに、繁子氏は今回、同幹事部へ右五圓債券に金拾圓を添へて特別終身會員たらんことを申出てしかば、同區幹事部にては遺族並に癈兵の家族が加入に對しては內規あることを示し、其出金を謝絕して入會を取計ふ旨を慰諭せしに、强て救護金の一端に加へられなば滿足なり、と希ふにぞ、遂に其意を容れたりと云ふ。尚ほ繁子氏は目下父の請負業を補助の傍ら、夫の遺兒を養育し以て家庭の平和を終世の樂みとなしつゝありと云ふ。擧世滔々として浮薄に赴く時、氏の如きは眞に稀に見るの賢女と稱すべし。

社告

子爵小笠原長生立案　佐藤正校閲　愛國婦人會編纂

奥村五百子詳傳

△一部金五十錢　郵稅四錢

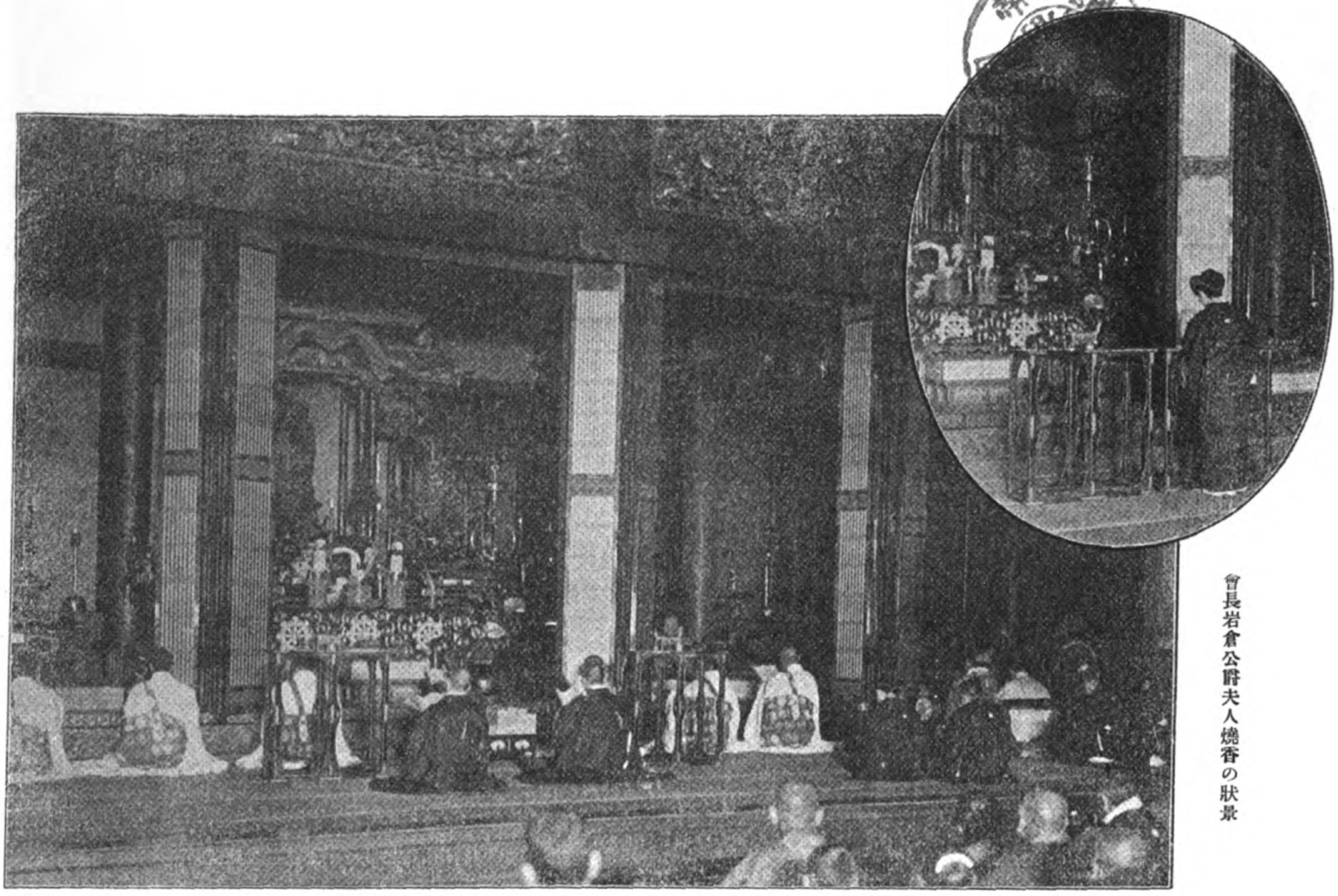
本會の主唱たる奥村刀自の傳記は明治昭代に於ける日本婦人の活動的歷史なると同時に一面は本會發達の歷史なり先般來本會之れが編輯に從事し今や彌々遠からずして出版の運びに至らんとす本傳記は四百頁以上の冊子とし其間に寫眞版を挿み文章を平易にし一般普及を旨とし汎く姉妹に頒たんとす此際可成速に陸續購讀方本會又は本發行所へ申込まれたし尚本書よりして得たる多少の利益は擧げて奥村刀自紀念碑建設の費用に供し度に付可成多數に購入ありたし

發行並に賣捌所　愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第百四十七號附錄

明治四十一年二月廿日（毎月二回五日廿日）明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）



會長岩倉公爵夫人燒香の狀景

奥村五百子刀自一周忌法會

發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人永持德一　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN